

# 第8期計画策定に向けた調査の要点

- ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
- ②在宅介護実態調査
- ③サービス提供事業所アンケート調査
- ④ケアマネジャアンケート調査

# 調査対象・回収結果

|              | ① 介護予防・日常生活圏域<br>ニーズ調査   | ② 在宅介護実態調査  |            |
|--------------|--|---|------------|
|              |  | 郵送  | 聞き取り       |
| 目的           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況の把握</li> <li>・地域課題の把握や対応策の検討に活用</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「認定者の在宅生活の継続」「家族等の介護者の就労継続」に効果的なサービス等の把握・分析に活用</li> </ul> |            |
| 対象者          | <u>要介護 1 から 5 の方を除く</u> 、市内在住の65歳以上の方  | 市内在住で、在宅生活をされている、要支援または要介護認定を受けられている方   |            |
| 送付数          | 2,000件   | 900件  | 199件       |
| 回収数<br>(回収率) | 1,348件 (69.2%)   | 528件 (58.7%)  | 199件 (-)   |
| 実施期間         | 令和2年1月～2月  | 令和2年1月～2月   | 令和元年5月～12月 |

# 調査対象・回収結果

|              | ③ サービス提供事業所アンケート調査   | ④ ケアマネジャーアンケート調査  |
|--------------|--|---|
| 目的           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業所の運営状況やサービス提供の実態把握</li> <li>・サービス見込量や関係機関の連携強化に向けた方策等の検討に活用</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプランの作成状況、介護保険サービスへの考え方等を把握</li> <li>・関係機関の連携強化に向けた方策、充実が必要な施策等の検討に活用</li> </ul> |
| 対象者          | 市内の介護保険サービスを提供している事業所  | 市内居宅介護支援事業所、地域包括支援センターが委託する近隣の居宅介護支援事業所に所属しているケアマネジャー   |
| 送付数          | 114事業所   | 83人   |
| 回収数<br>(回収率) | 67件 (58.7%)  | 54件 (65.1%)   |
| 調査期間         | 令和2年1月～2月  | 令和2年1月～2月   |

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」「在宅介護実態調査」「サービス提供事業所アンケート調査」「ケアマネジャーアンケート調査」の結果について、第7期計画の基本目標の項目ごとに、特徴がある箇所を挙げました。

## 【第7期 基本目標】

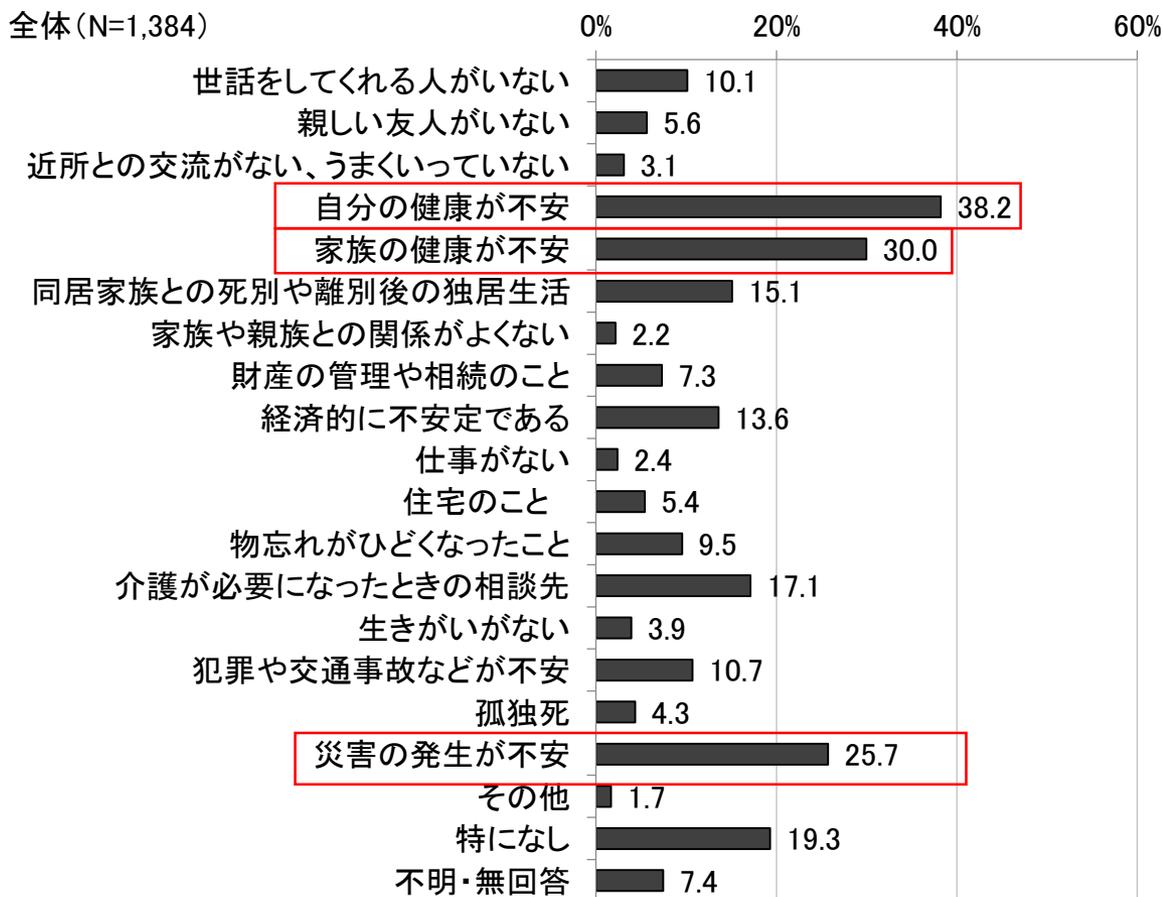
- I 高齢者の元気力アップへの“いきいき”活動の推進
- II いつまでも安心して暮らしていけるための地域包括ケアシステムの推進
- III 高齢者と家族を支える介護体制の充実

# I 高齢者の元気力アップへの“いきいき”活動の推進

## 【介護予防の推進】

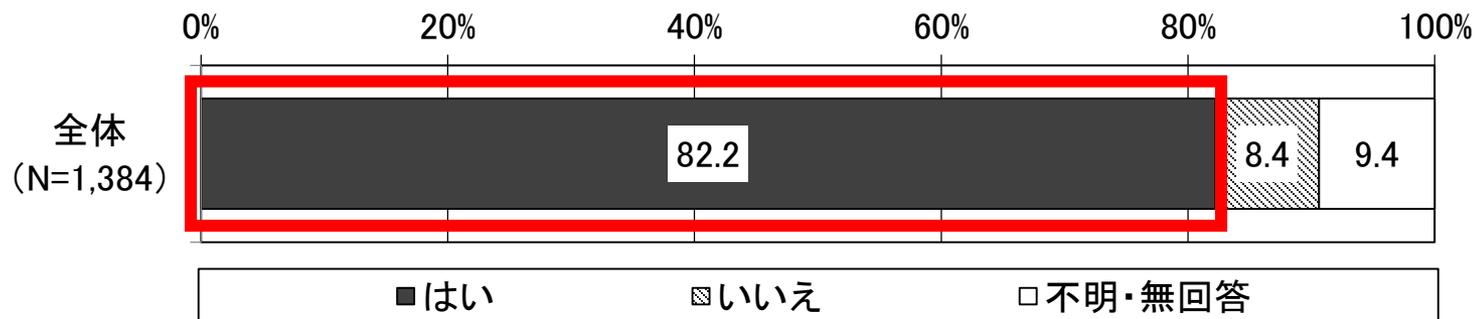
日常生活を送る上で、将来、不安や心配されていることはありますか。(複数回答) ※ニーズ調査

将来、不安または心配されていることについてみると、「自分の健康が不安」が38.2%と最も高く、次いで「家族の健康が不安」が30.0%、「災害の発生が不安」が25.7%となっています。



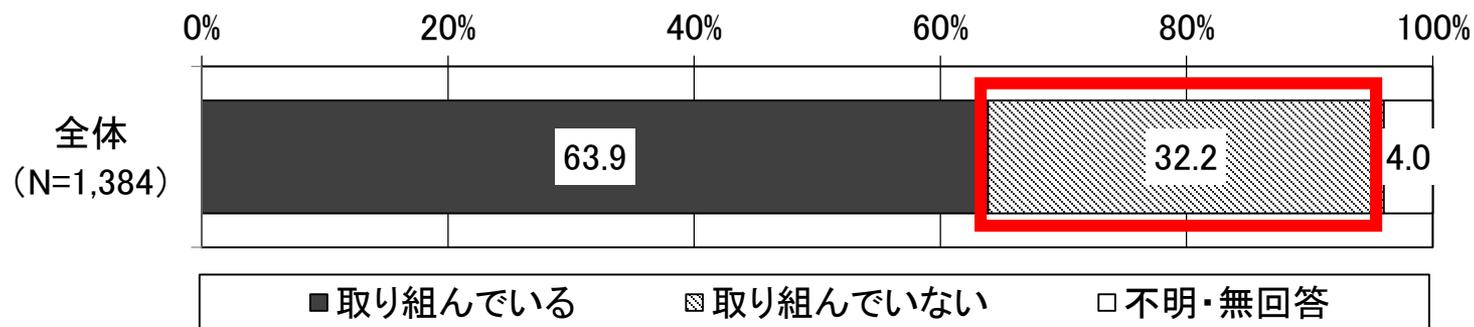
定期的に通院もしくは健康診断を受けていますか。(単数回答) ※ニーズ調査

定期的に通院もしくは健康診断を受けているかについてみると、「はい」が82.2%となっています。



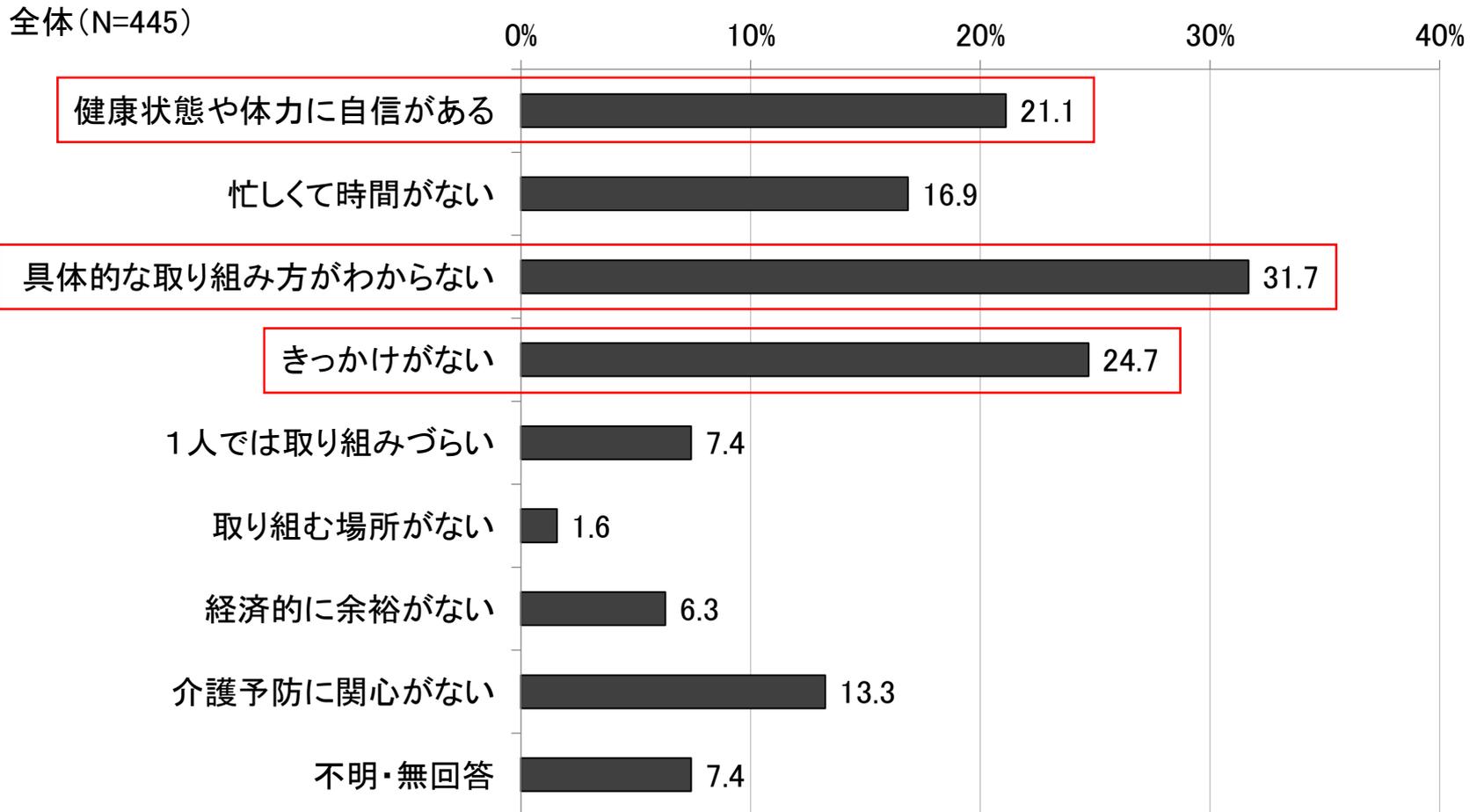
介護状態にならないように、現在、介護予防に取り組んでいますか。(単数回答) ※ニーズ調査

介護予防に取り組んでいるかについてみると、「取り組んでいない」が32.2%となっています。



## 介護予防に取り組まれていない理由は何ですか。（複数回答） ※ニーズ調査

介護予防に取り組んでいない方（32.2%）に理由についてうかがうと、「具体的な取り組み方がわからないから」が31.7%と最も高く、次いで「きっかけがないから」が24.7%、「健康状態や体力に自信があるから」が21.1%となっています。



- 定期的に通院や健康診断を通して医師の医療チェックを受けている人は8割を超えている一方で、「取り組み方がわからない」「きっかけがない」という理由等で介護予防に取り組んでいない人が3割強おり、介護予防に取り組んでもらうための働きかけが必要と考えられます。
- 以上より取り組み方やきっかけ、関心を持たれるような内容があれば介護予防の取り組みに参加される人が多いと想定されるため、健康づくりや介護予防の取り組みをすることの重要性の周知・啓発等が必要になってきます。
- あわせて、地域において自分ができることをする環境を整備・支援することで出番づくりや社会参加となり、介護予防ひいては地域づくりにもつながると考えられます。



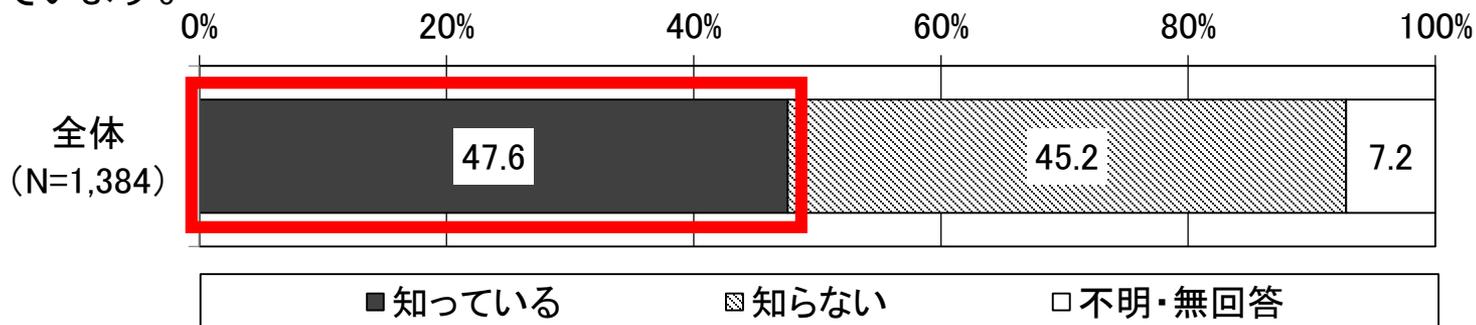
**誰もが参加しやすい介護予防の推進**

## Ⅱ いつまでも安心して暮らしていけるための地域包括ケアシステムの推進

### 【地域包括支援センターの機能強化】

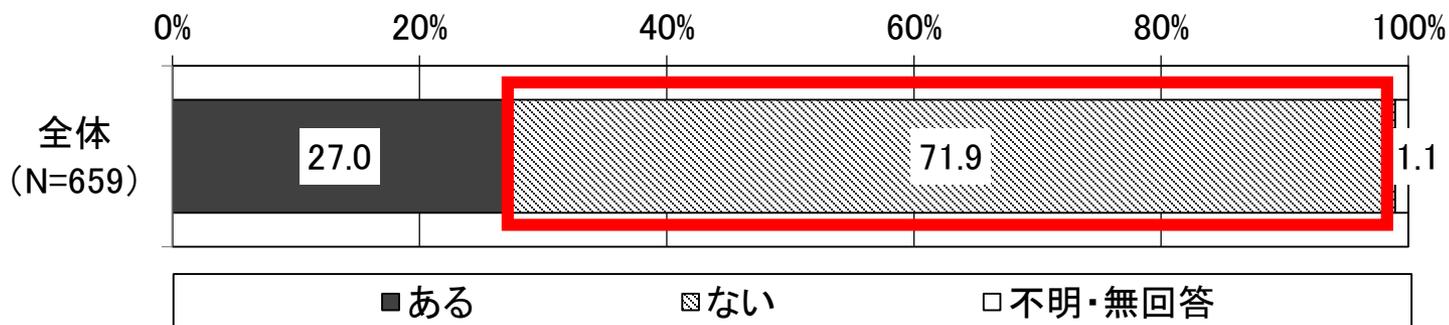
地域包括支援センターを知っていますか。（単数回答） ※ニーズ調査

地域包括支援センターの認知度についてみると、「知っている」が47.6%、「知らない」が45.2%となっています。



地域包括支援センターを利用したことはありますか。（単数回答） ※ニーズ調査

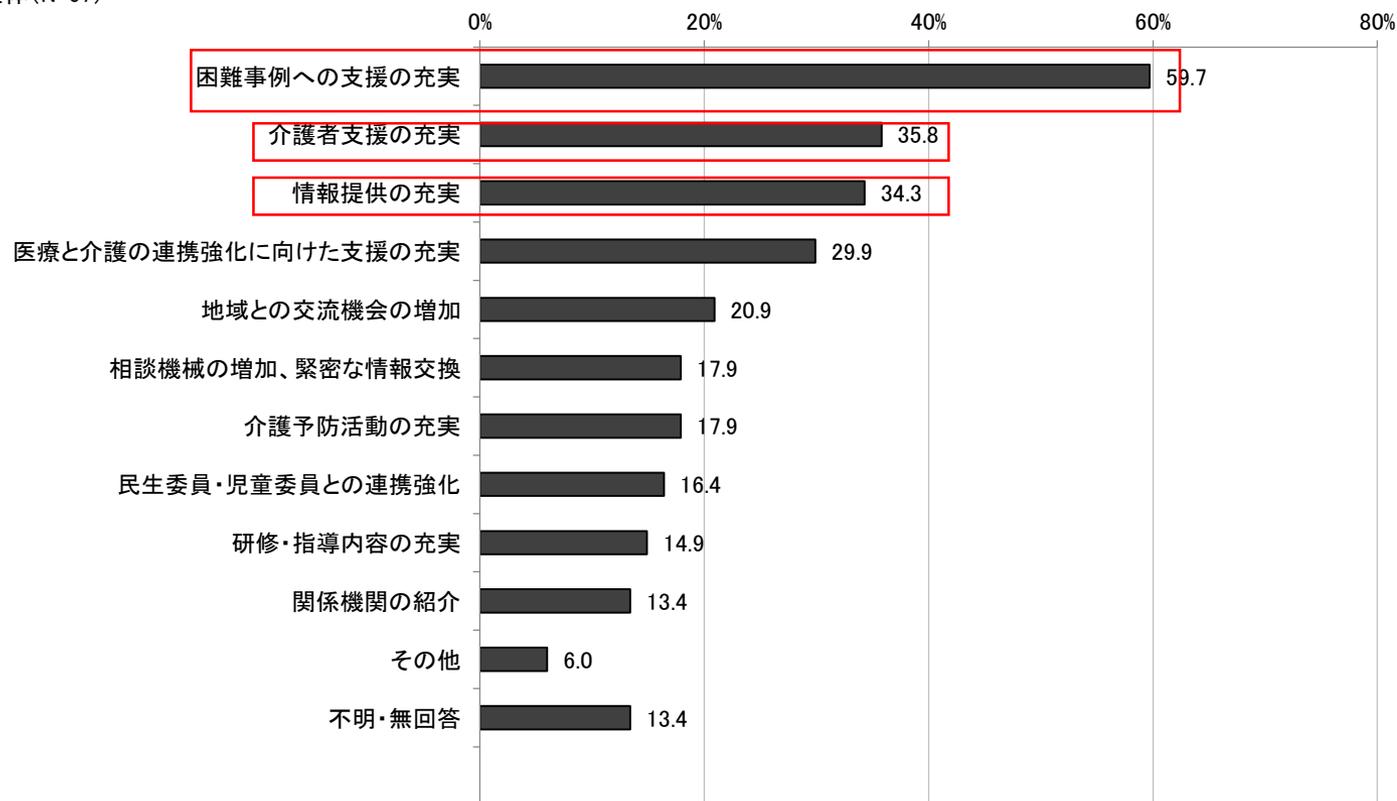
地域包括支援センターを利用したことがあるかについてみると、「ない」が71.9%と「ある」の27.0%を大きく上回っています。



## 地域包括支援センターに機能強化してほしいことは何ですか。（複数回答） ※事業所調査

「困難事例への支援の充実」が59.7%と最も高く、次いで「介護者支援の充実」が35.8%、「情報提供の充実」が34.3%となっています。

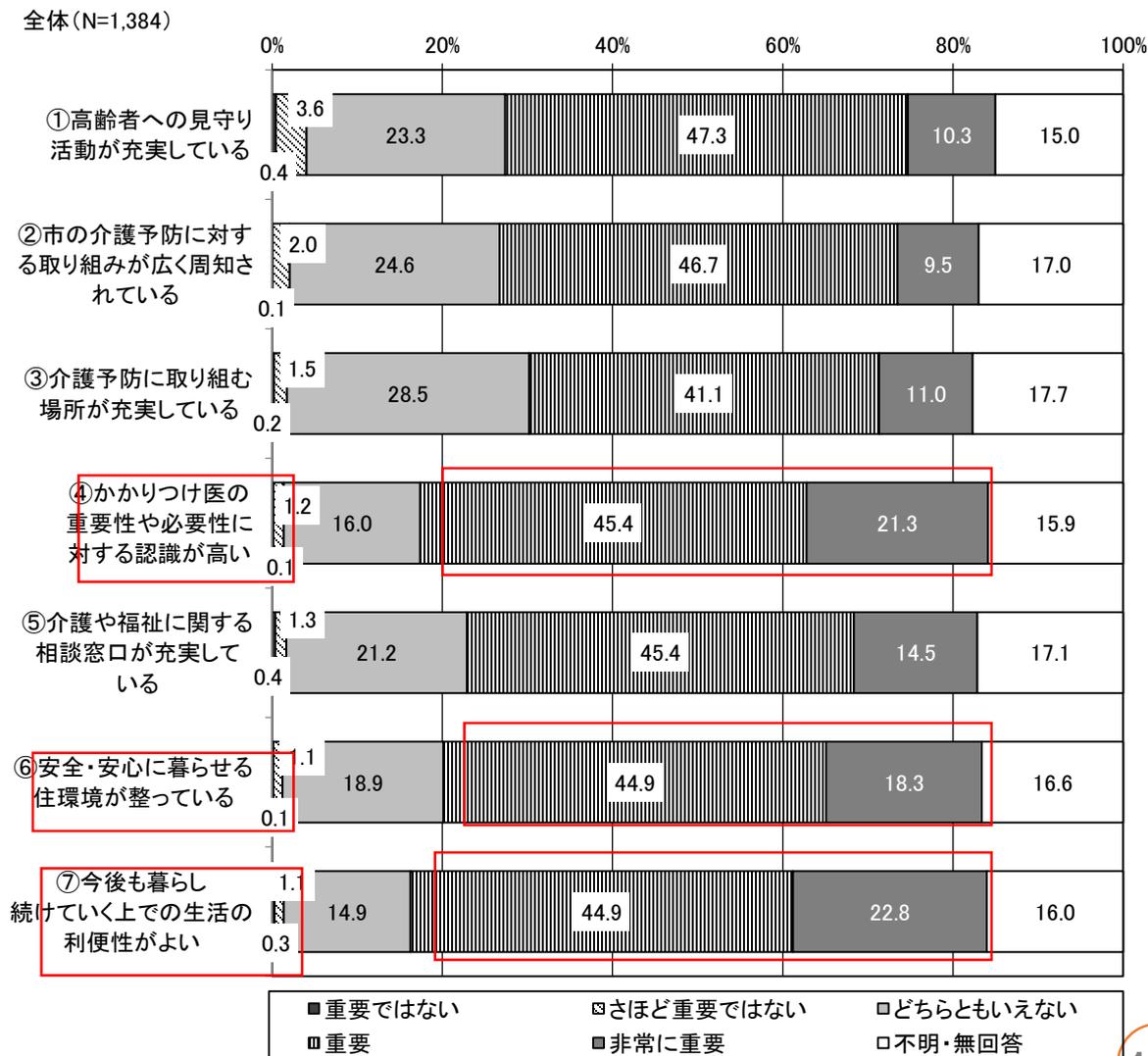
全体(N=67)



# 【多職種連携、在宅医療・介護の推進】

あなたが住んでいる地域について「必要なこと」は何ですか。（① - ⑦それぞれに対して「必要なこと」を単数回答） ※ニーズ調査

【必要なこと】についてみると、『重要（「非常に重要」+「重要」）』では、「⑦今後も暮らし続けていく上での生活の利便性がよい」が67.7%と最も高く、次いで「④かかりつけ医の重要性や必要性に対する認識が高い」が66.7%、「⑥安全・安心に暮らせる住環境が整っている」が63.2%となっています。

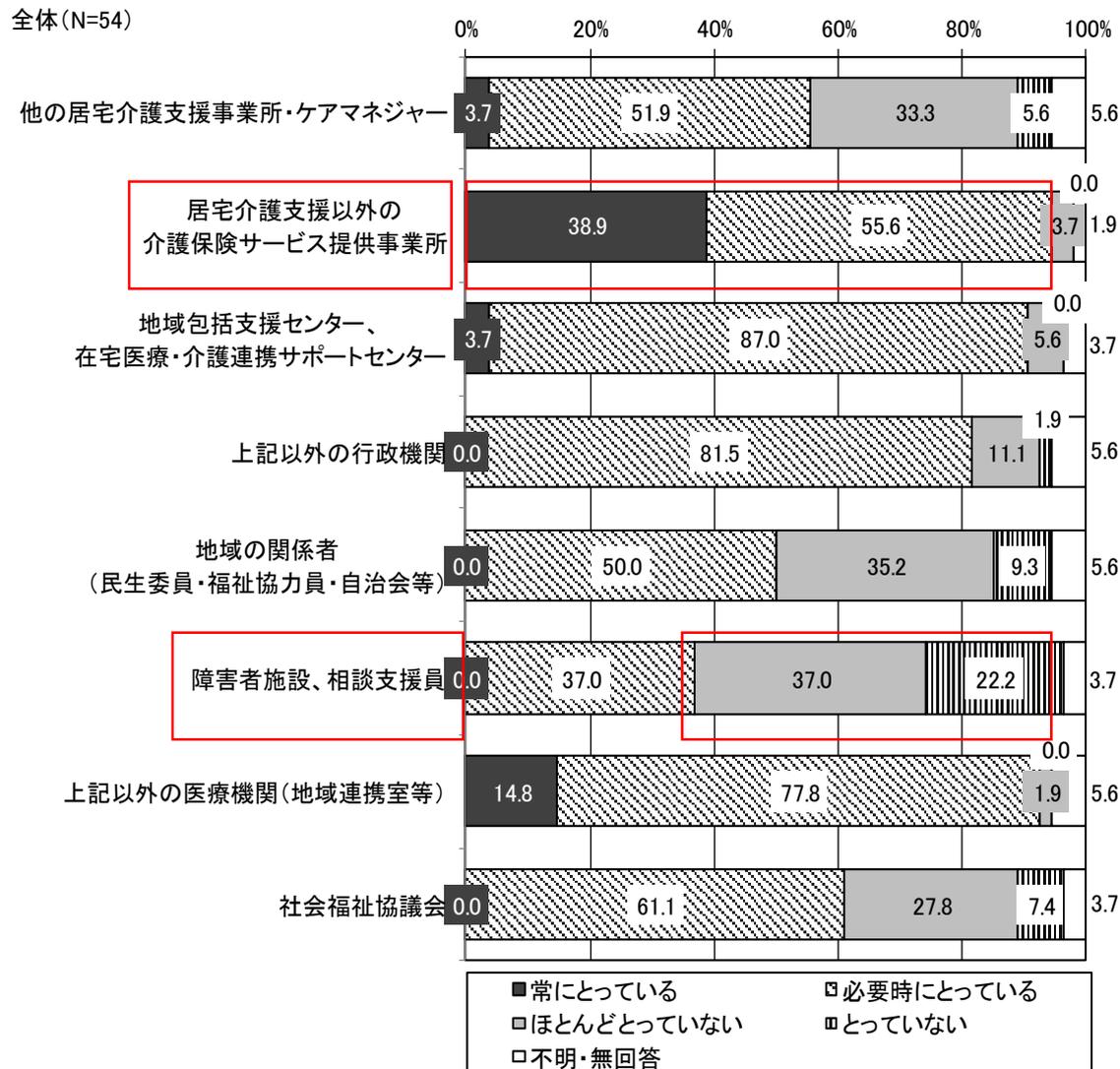


# 関係機関等との連携の状況（① - ⑦それぞれに対して連携の状況を単数回答）

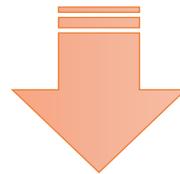
## ※ケアマネ調査

関係機関等との連携の状況についてみると、『とっている』では、＜居宅介護支援以外の介護保険サービス提供事業所＞が94.5%と最も高く、次いで＜上記以外の医療機関（地域連携室等）＞が92.6%、＜地域包括支援センター、在宅医療・介護連携サポートセンター＞が90.7%となっています。

一方、『取っていない』では、＜障害者施設、相談支援員＞が59.2%と最も高く、次いで＜地域の関係者（民生委員・福祉協力員・自治会等）＞が44.5%、＜他の居宅介護支援事業所・ケアマネジャー＞が38.9%となっています。



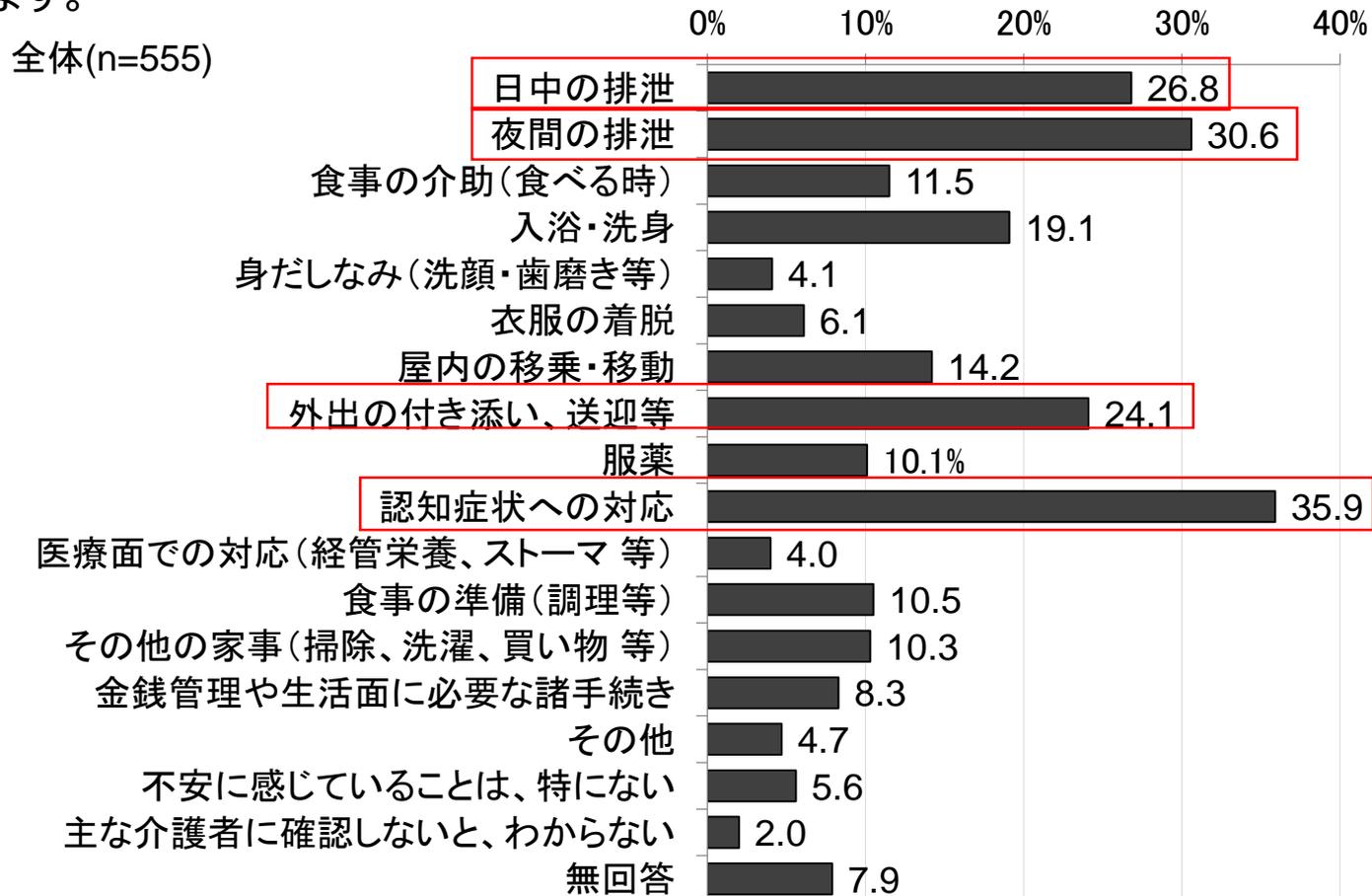
- 地域包括支援センターの認知度は5割に至らず、利用経験者も少ない状況です。
- 生活の利便性や安心・安全な住環境とともに、医療機関の充実も重要視されており、安心して生活するうえでは、地域の医療機関の充実も必要とされています。
- 健康を維持し、地域で自立した生活を営んでいくためには、介護予防の取組と身近な医療機関等との連携を一層推進することが必要と考えられます。



**地域包括支援センターの機能強化と  
在宅医療・介護の切れ目のない提供**

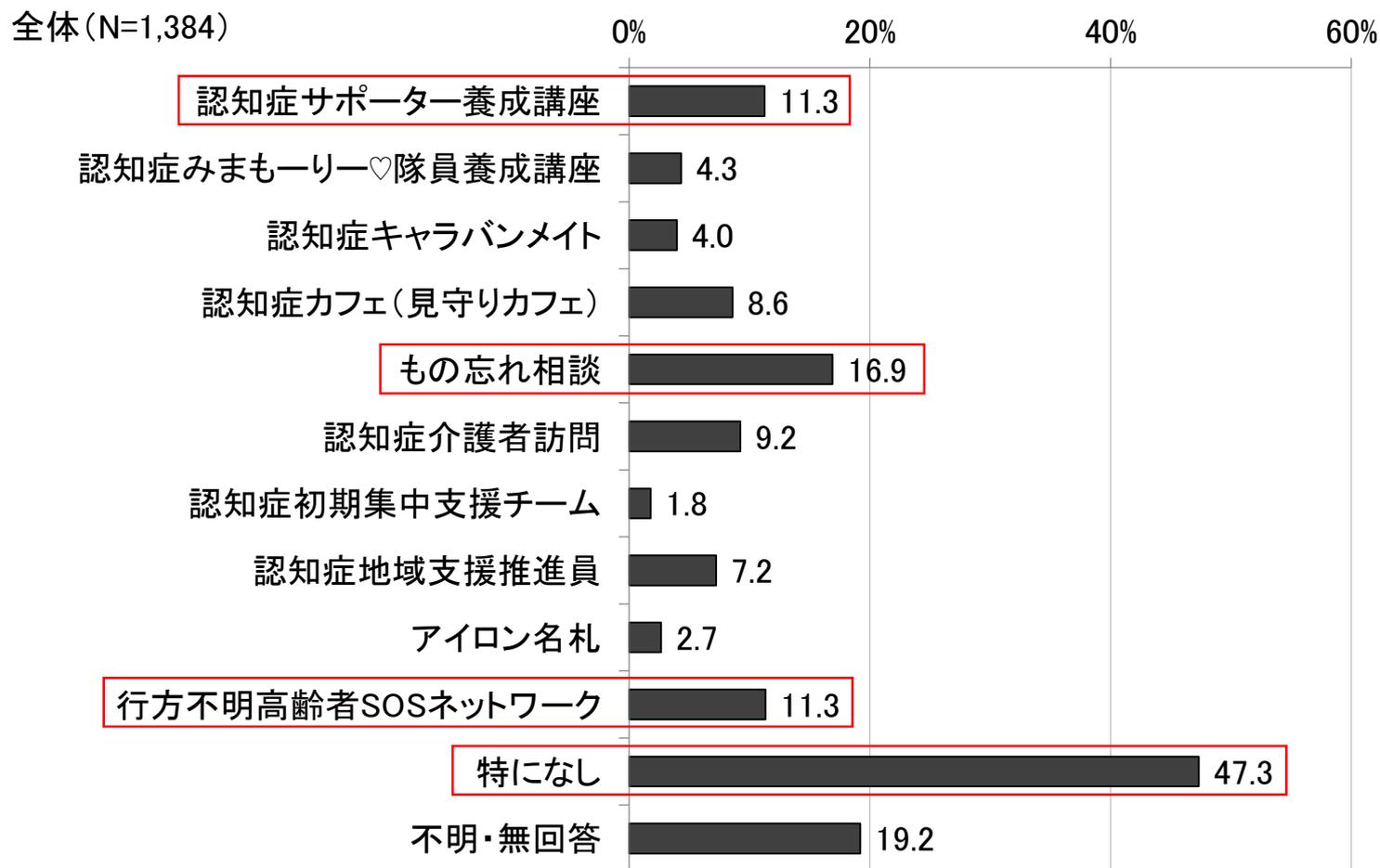
## 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護(複数回答) ※在宅介護調査

主な介護者が不安に感じる介護についてみると、「認知症状への対応」が35.9%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が30.6%、「日中の排泄」が26.8%、「外出の付き添い、送迎等」が24.1%となっています。



市で実施している認知症施策について、知っているものはありますか。(複数回答) ※ニーズ調査

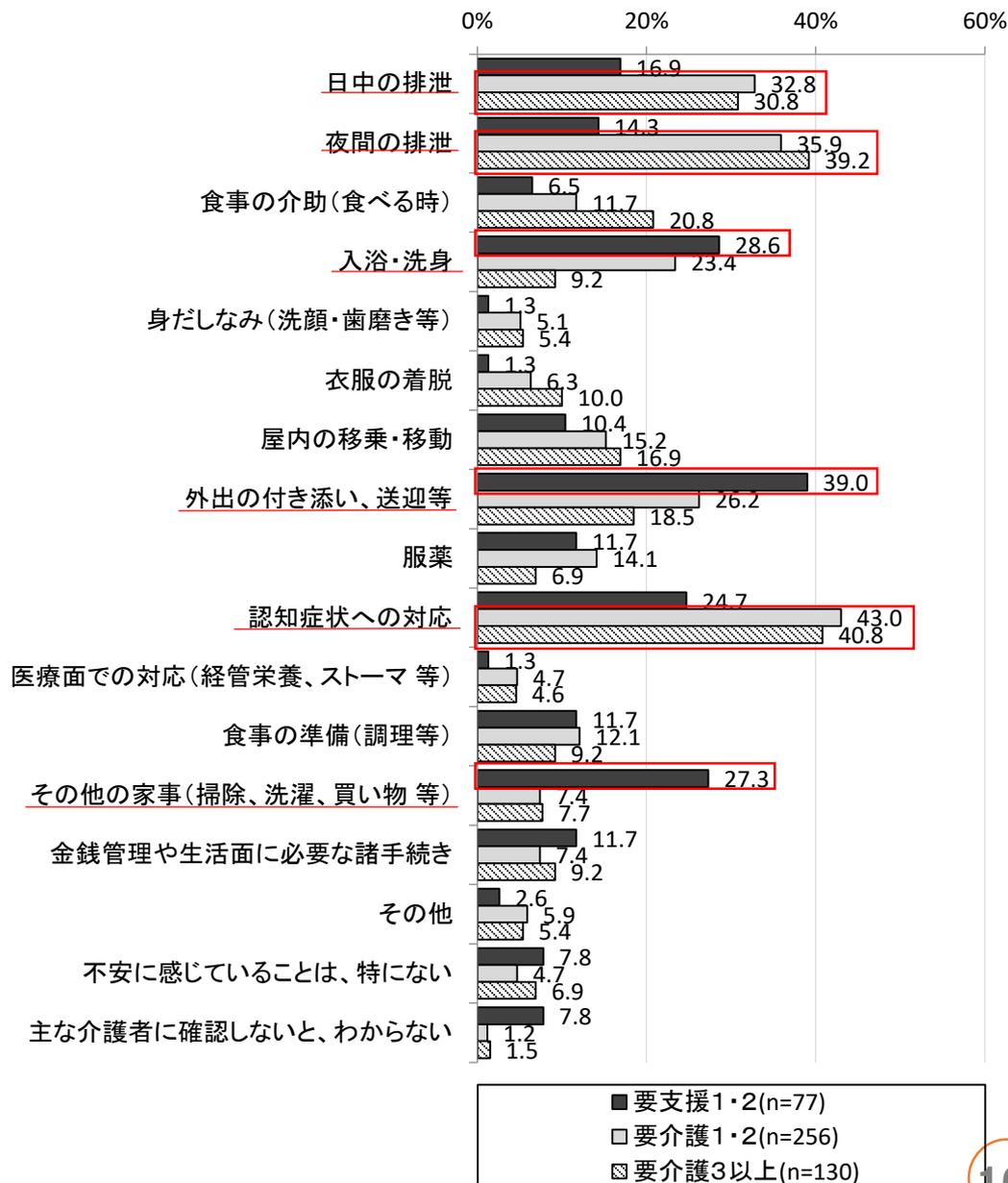
市の認知症施策の認知度についてみると、「特になし」が47.3%と最も高く、次いで「もの忘れ相談」が16.9%、「認知症サポーター養成講座」「行方不明高齢者SOSネットワーク」がそれぞれ11.3%となっています。



## 要介護度別・介護者が不安に感じる介護 ※在宅介護調査

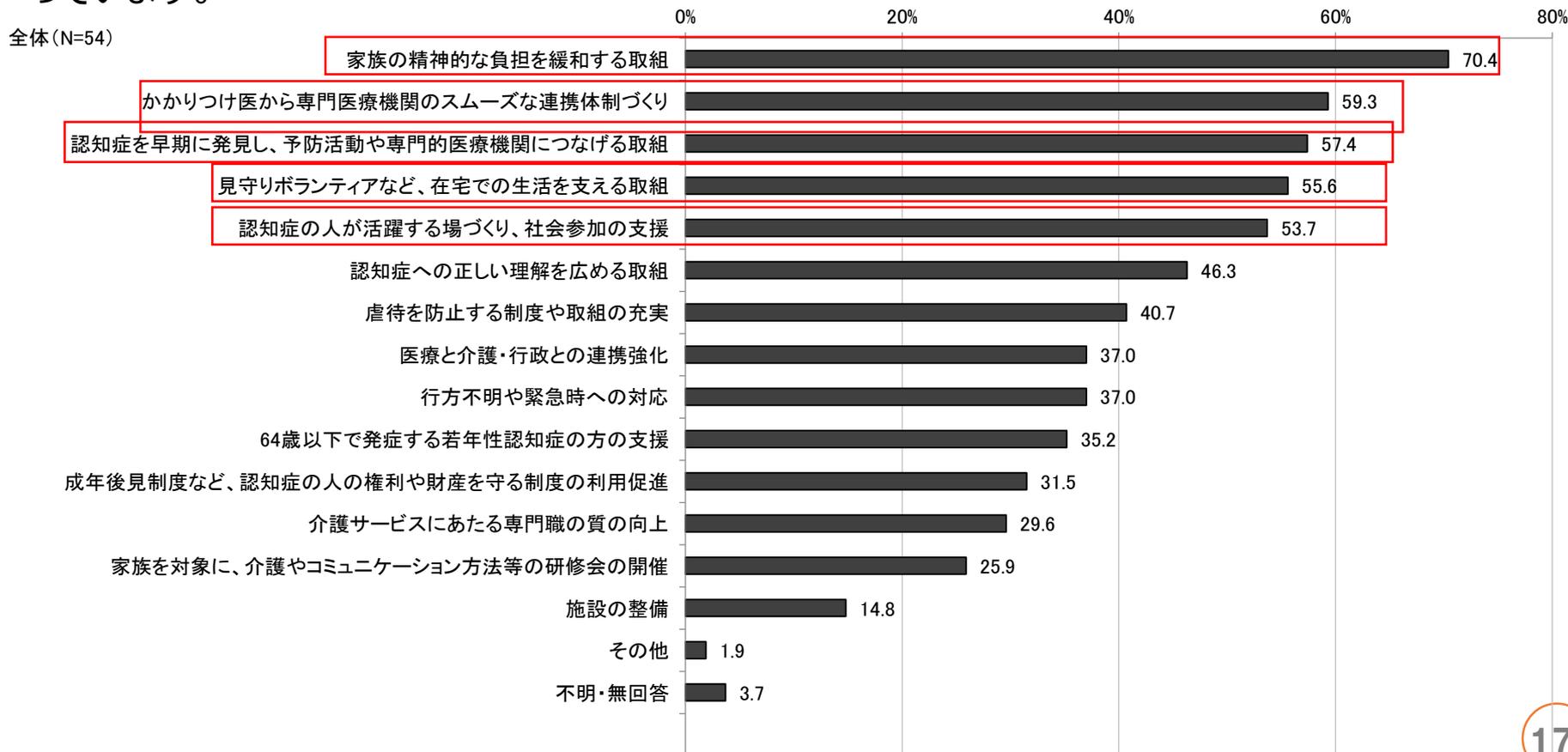
要介護度別に介護者が不安に感じる介護をみると、『要介護1・2』『要介護3以上』では「認知症状への対応」が最も高く、次いで「夜間の排泄」「日中の排泄」が高くなっています。

また、『要支援1・2』では「外出の付き添い、送迎等」「入浴・洗身」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が高くなっています。

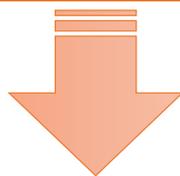


## 今後、認知症施策を進めていく上で、守山市が重点を置くべきこと（複数回答） ※ケアマネ調査

「家族の精神的な負担を緩和する取り組み」が70.4%と最も高く、次いで「かかりつけ医から専門医療機関のスムーズな連携体制づくり」が59.3%、「認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療機関につなげる取り組み」が57.4%、「見守りボランティアなど、在宅での生活を支える取り組み」が55.6%、「認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援」が53.7%となっています。



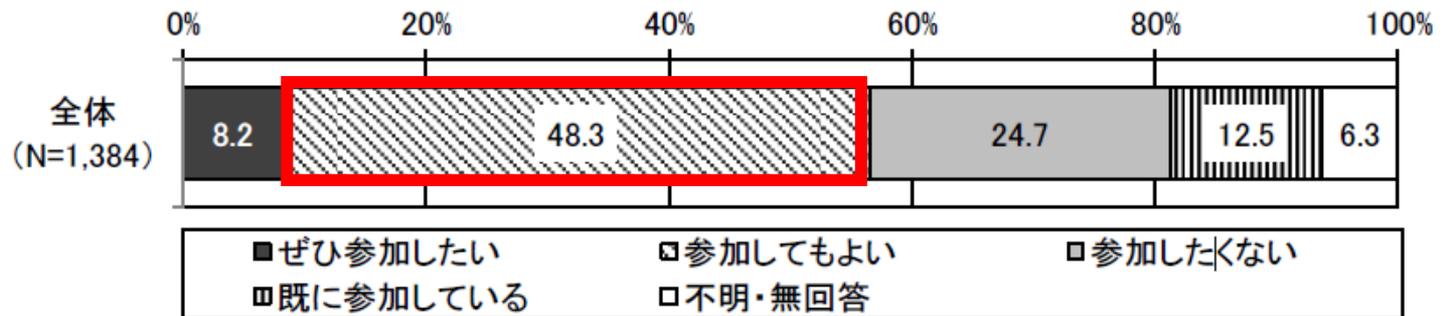
- 市の認知症施策についてあまり知られていない状況です。
- 介護者も認知症状への対応への不安を強く感じています。
- 家族の精神的負担を緩和する取組、早期に発見し、専門医療機関につなげる取組が求められています。
- 認知症対策には、関わる人の症状の理解や対応する知識が不可欠なため、認知症施策の周知・啓発をはじめとした、地域社会で支える認知症施策の更なる充実が必要です。



**地域全体で取り組む認知症「共生」・「予防」の推進と  
関係機関の連携の強化**

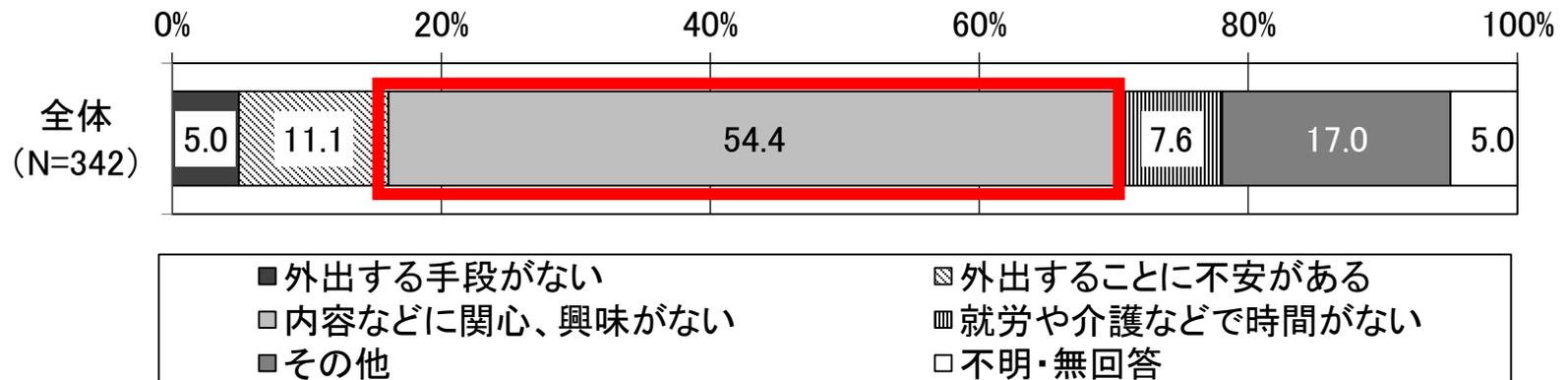
地域のグループ活動に参加者として参加したいですか。（単数回答） ※ニーズ調査

いきいきした地域づくりへの参加者としての参加意向についてみると、「参加してもよい」が48.3%と最も高く、次いで「参加したくない」が24.7%となっています。



地域のグループ活動に参加したくない理由は何ですか。（複数回答） ※ニーズ調査

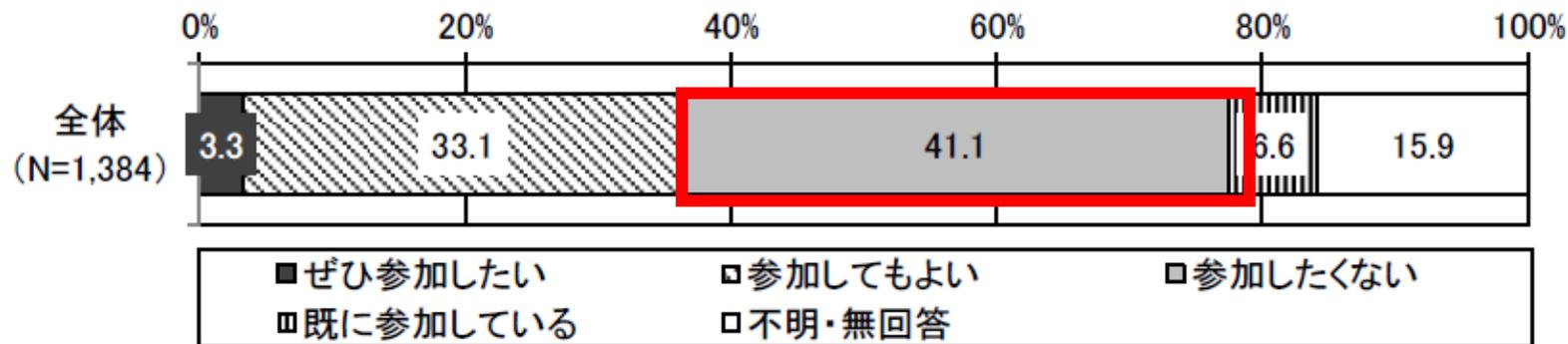
地域のグループ活動に参加したくない方（24.7%）に理由についてうかがうと、「内容などに関心、興味がない」が54.4%と最も高くなっています。



地域のグループ活動に、企画・運営（お世話役）として参加したいですか。（単数回答）

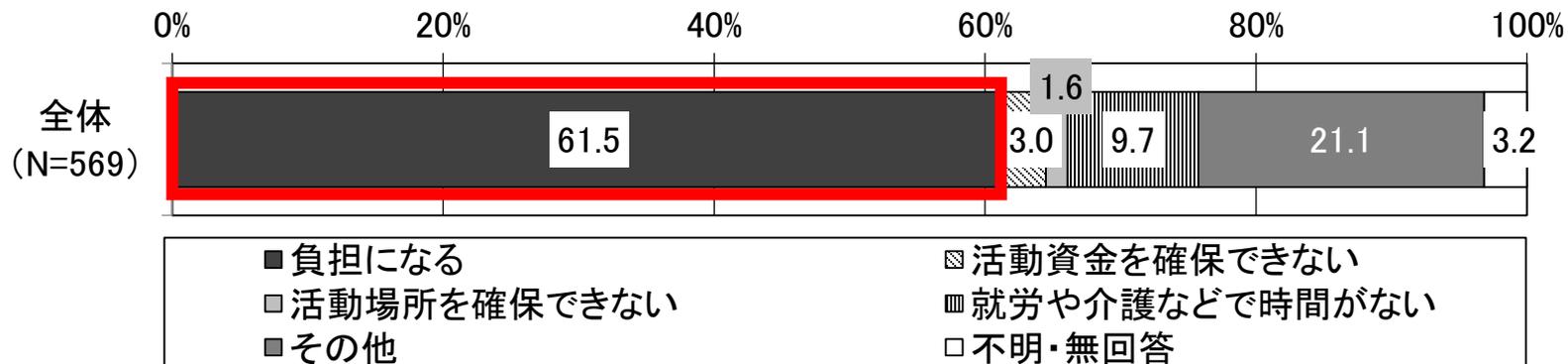
※ニーズ調査

企画・運営としての参加意向についてみると、「参加したくない」が41.1%と最も高く、次いで「参加してもよい」が33.1%となっています。



地域のグループ活動に企画・運営（お世話役）として参加したくない理由は何ですか。（複数回答） ※ニーズ調査

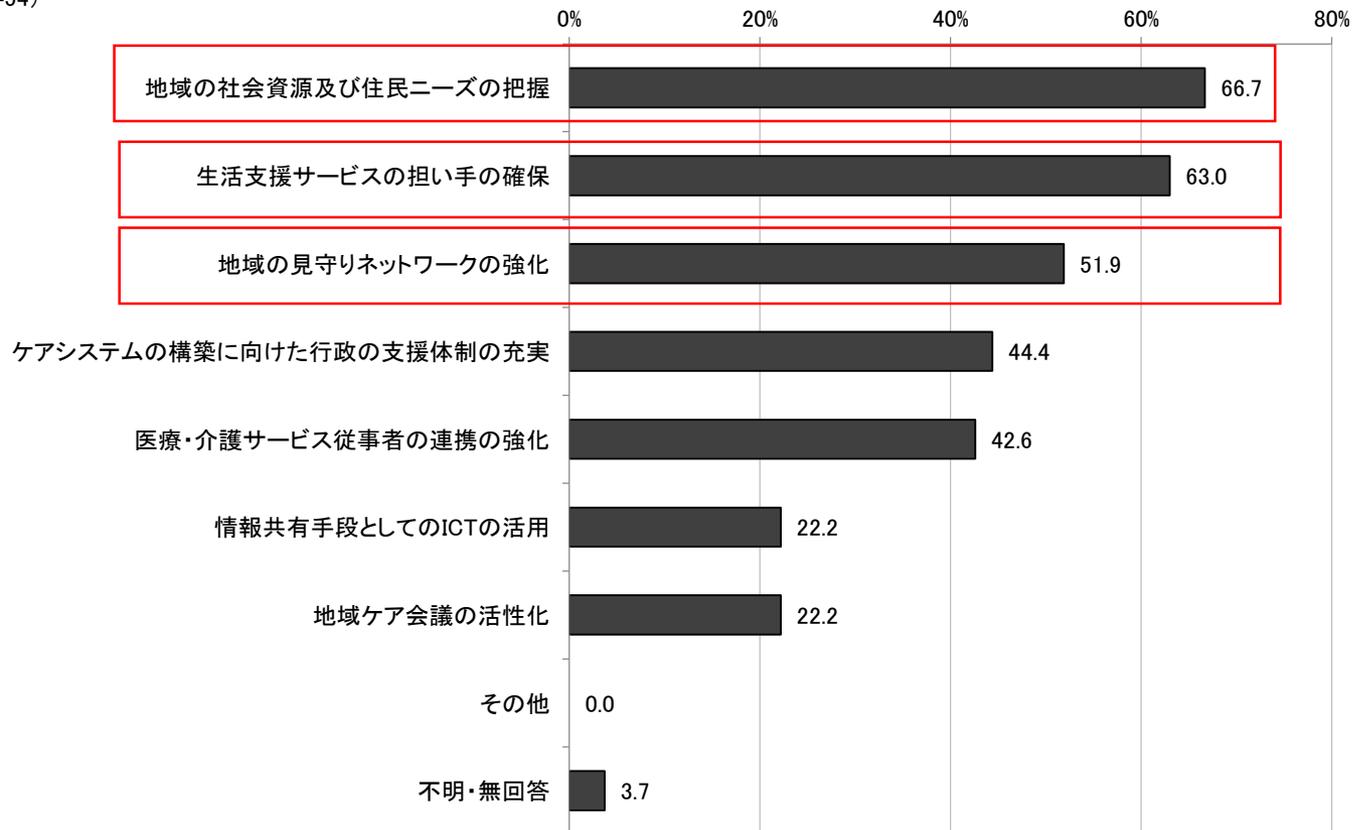
地域のグループ活動に企画・運営（お世話役）として参加したくない方（41.1%）に理由についてうかがうと、「負担になる」が61.5%と最も高くなっています。



## 地域包括ケアシステムを構築するために必要だと思われるもの。(複数回答) ※ケアマネ調査

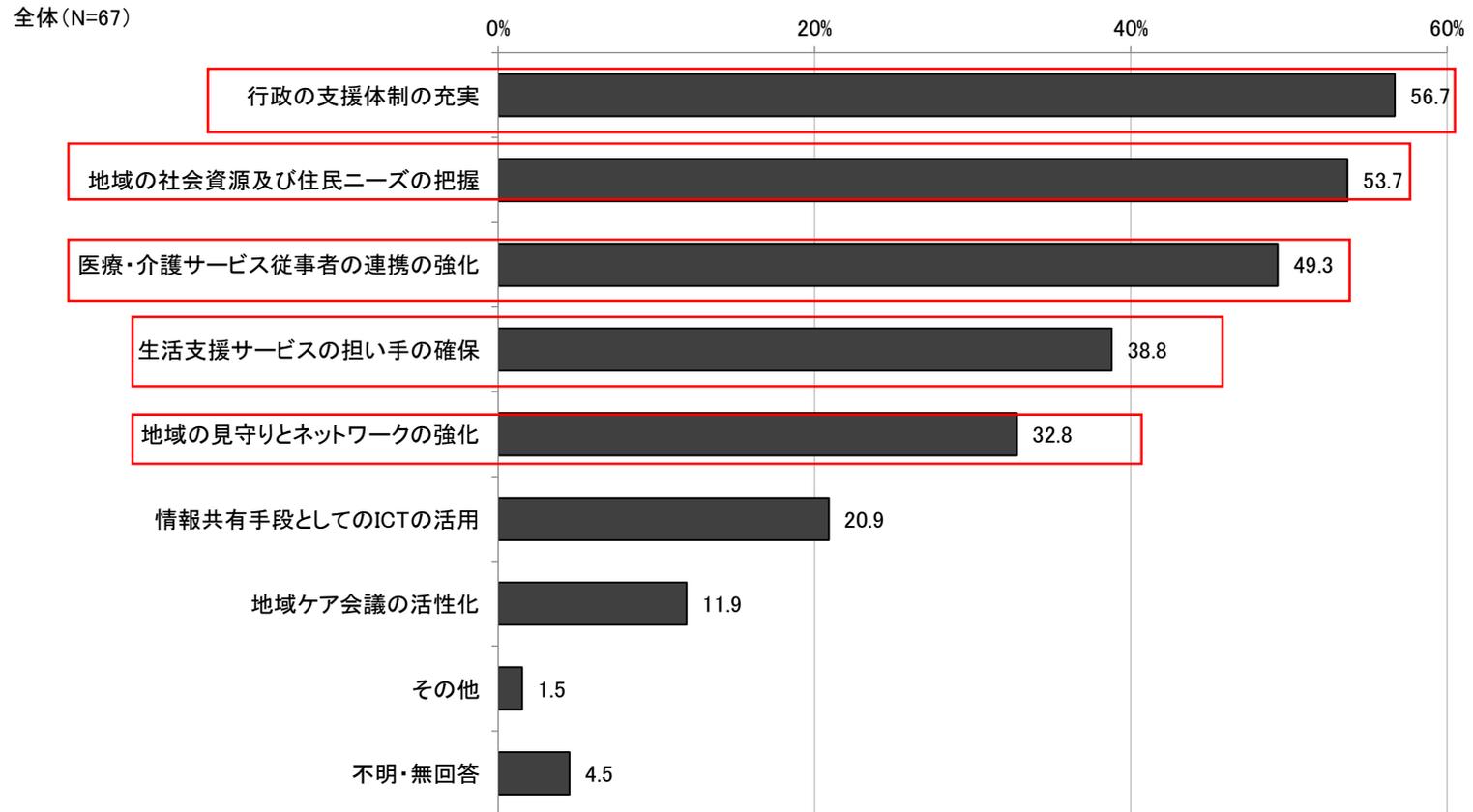
ケアマネ調査では、「地域の社会資源及び住民ニーズの把握」が66.7%と最も高く、次いで「生活支援サービスの担い手の確保」が63.0%、「地域の見守りネットワークの強化」が51.9%となっています。

全体(N=54)

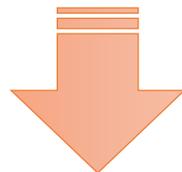


## 地域包括ケアシステムを構築するために必要だと思われるもの。（複数回答） ※事業所調査

事業所調査では、「行政の支援体制の充実」が56.7%と最も高く、次いで「地域の社会資源及び住民ニーズの把握」が53.7%、「医療・介護サービス従業者の連携の強化」が49.3%、「生活支援サービスの担い手の確保」が38.8%、「地域の見守りとネットワークの強化」が32.8%となっています。



- 地域での活動への参加意欲は高いが、企画・運営としての参加意向は低くなっています。
- 地域のグループ活動に参加しない理由として、参加者の関心・興味が持てないこと、主催者の負担が大きいことがあげられています。
- 地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進に向けては、担い手づくりに加え、「地域での見守りネットワークの強化」が求められています。

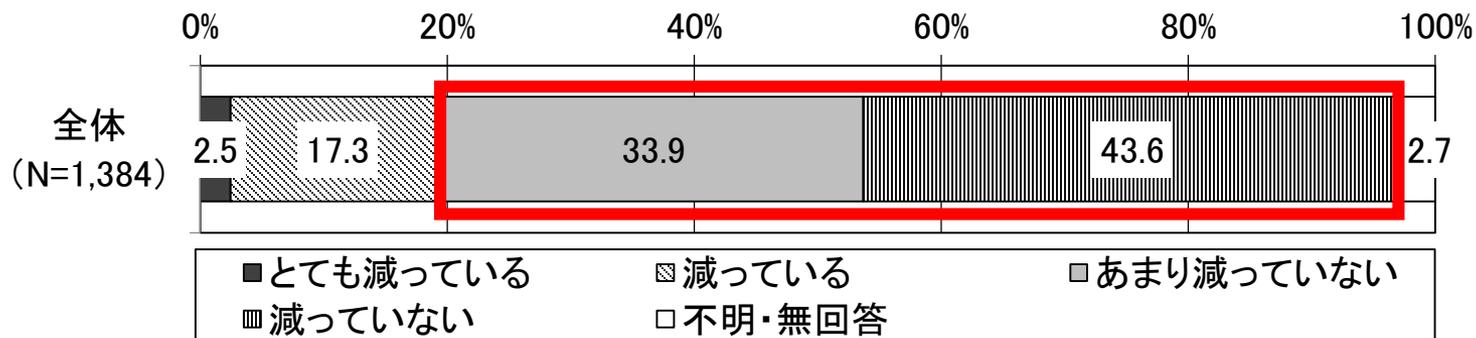


## 地域共生社会に向けた包括的支援体制の構築

## 【移動支援の充実】

昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（単数回答） ※ニーズ調査

「減っていない」が43.6%と最も高く、次いで「あまり減っていない」が33.9%となっています。要支援認定の有無別にみると、要支援度が高い方ほど、外出の回数が減る傾向となっています。

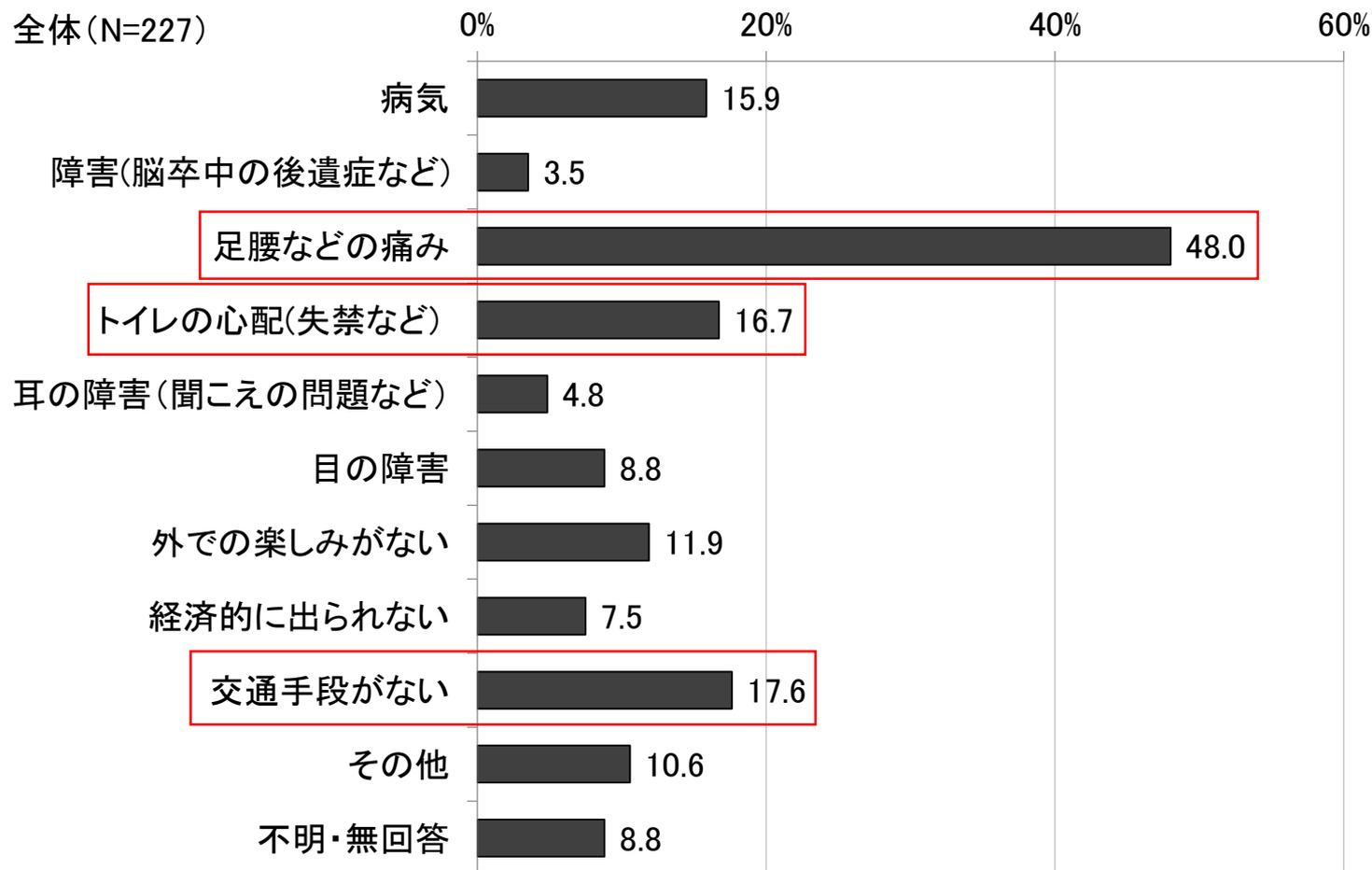


### ■ 昨年と比べて外出の回数が減っているか × 要支援認定の有無別

| 上段:度数<br>下段:% |         | ととも減っている  | 減っている       | あまり減っていない   | 減っていない      | 不明・無回答    |
|---------------|---------|-----------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 全体            | N=1,384 | 34<br>2.5 | 240<br>17.3 | 469<br>33.9 | 604<br>43.6 | 37<br>2.7 |
| 要支援認定の有無別     |         |           |             |             |             |           |
| 受けていない        | N=1,233 | 20<br>1.6 | 198<br>16.1 | 416<br>33.7 | 568<br>46.1 | 31<br>2.5 |
| 総合事業対象者       | N=5     | -         | 1<br>20.0   | 2<br>40.0   | 2<br>40.0   | -         |
| 要支援1          | N=56    | 5<br>8.9  | 14<br>25.0  | 22<br>39.3  | 13<br>23.2  | 2<br>3.6  |
| 要支援2          | N=31    | 6<br>19.4 | 14<br>45.2  | 5<br>16.1   | 5<br>16.1   | 1<br>3.2  |
| 不明・無回答        | N=59    | 3<br>5.1  | 13<br>22.0  | 24<br>40.7  | 16<br>27.1  | 3<br>5.1  |

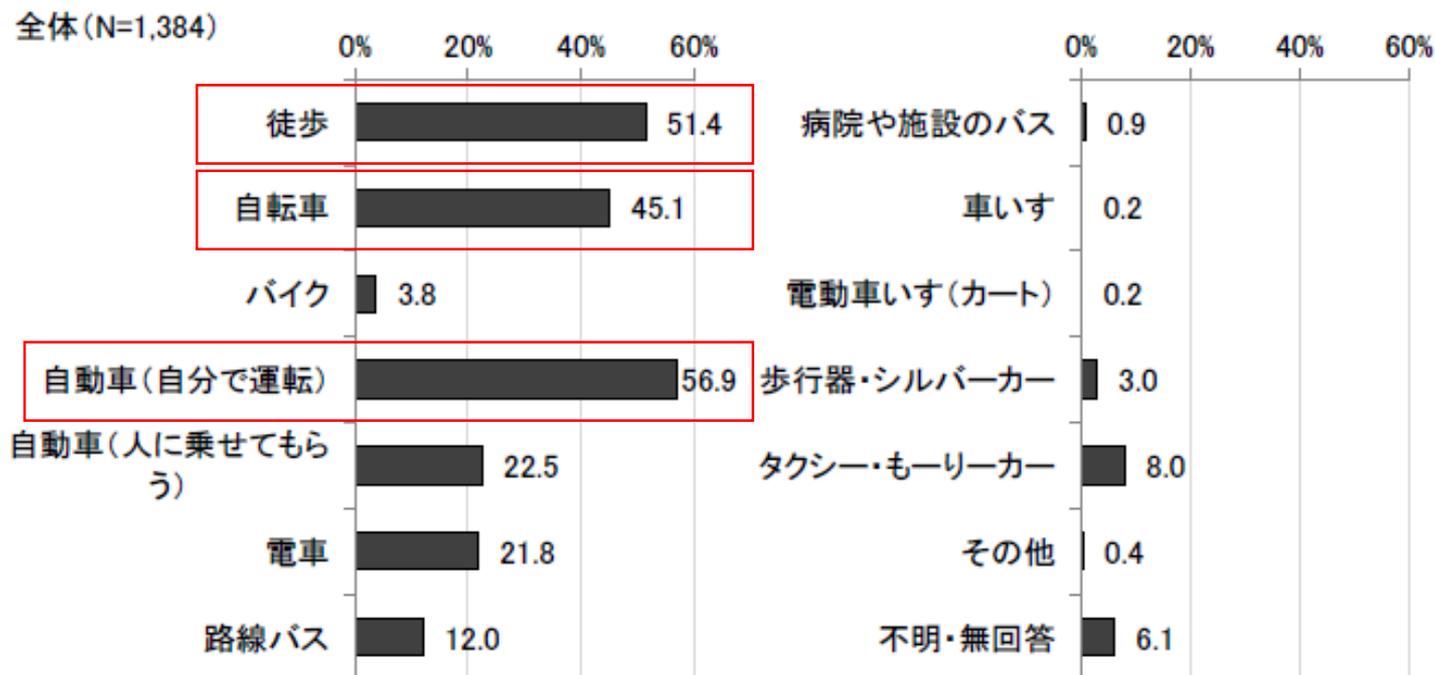
## 外出を控えている理由は、何ですか。(複数回答) ※ニーズ調査

外出を控えている理由についてみると、「足腰などの痛み」が48.0%と最も高く、次いで「交通手段がない」が17.6%、「トイレの心配(失禁など)」が16.7%となっています。支援が必要な方ほど、外出の回数が減る傾向にあります。



## 外出する際の移動手段は何ですか。（複数回答） ※ニーズ調査

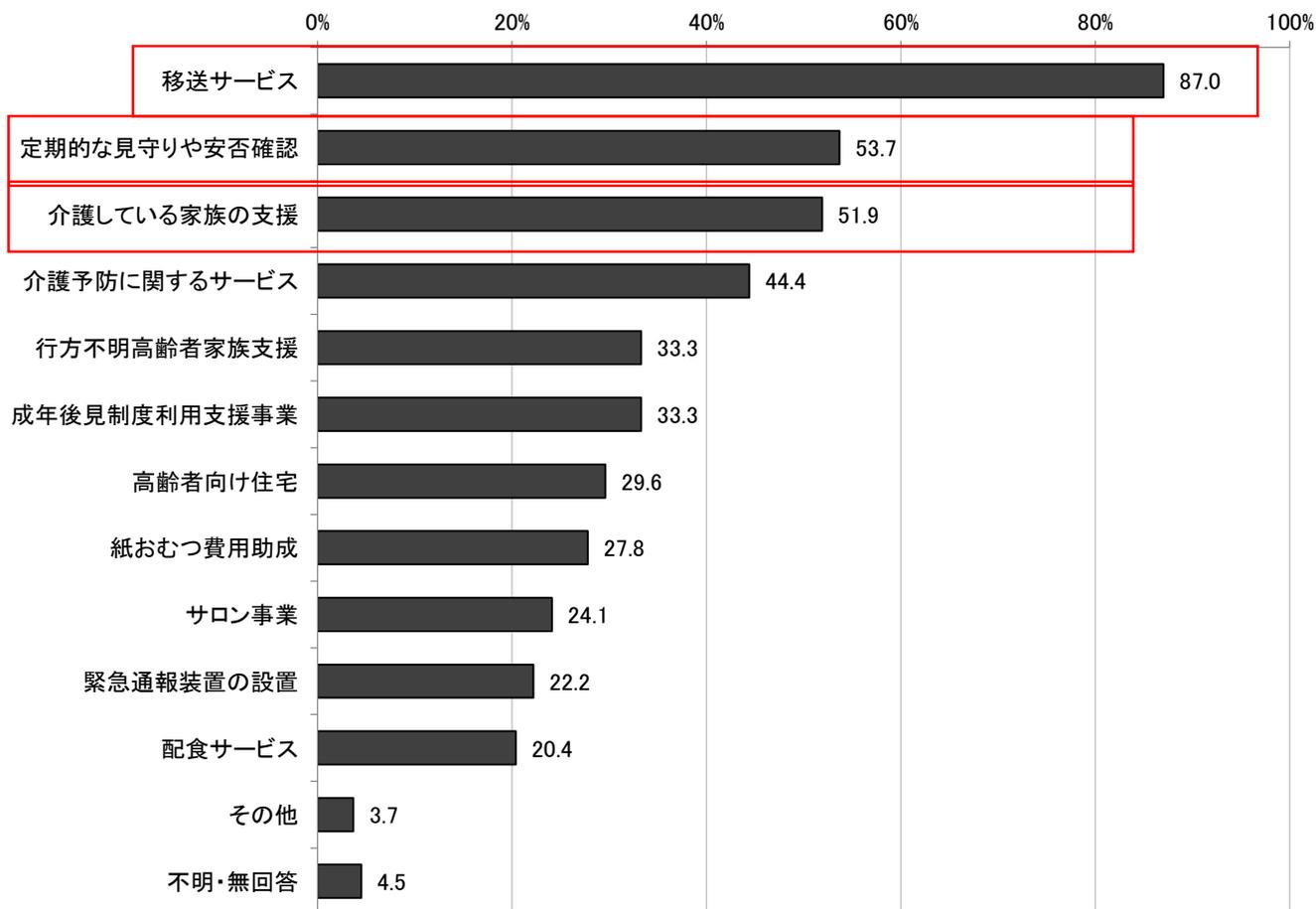
外出する際の移動手段についてみると、「自動車（自分で運転）」が56.9%と最も高く、次いで「徒歩」が51.4%、「自転車」が45.1%となっています。



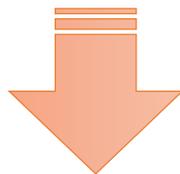
## 守山市が充実すべきサービスや支援活動（複数回答） ※ケアマネ調査

「移送サービス」が87.0%と最も高く、次いで「定期的な見守りや安否確認」が53.7%、「介護している家族の支援」が51.9%となっています。

全体 (N=54)



- 支援が必要な方ほど、外出の回数が減る傾向が出ており、外出を控える理由が「足腰などの痛み」、「交通手段がない」が多くを占めています。
- 高齢者の自動車利用への依存が強く、運転ができなくなった後の、外出手段の確保が課題となっていることが伺えます。
- 要介護状態、年齢、障害の有無に関わらず、外出したい思いをかなえる交通施策について、まちづくりの視点から総合的に検討する必要があると考えられます。
- 必要なサービスとして、「定期的な見守り」や「安否確認」が挙げられています。



**外出支援、見守り支援の充実**

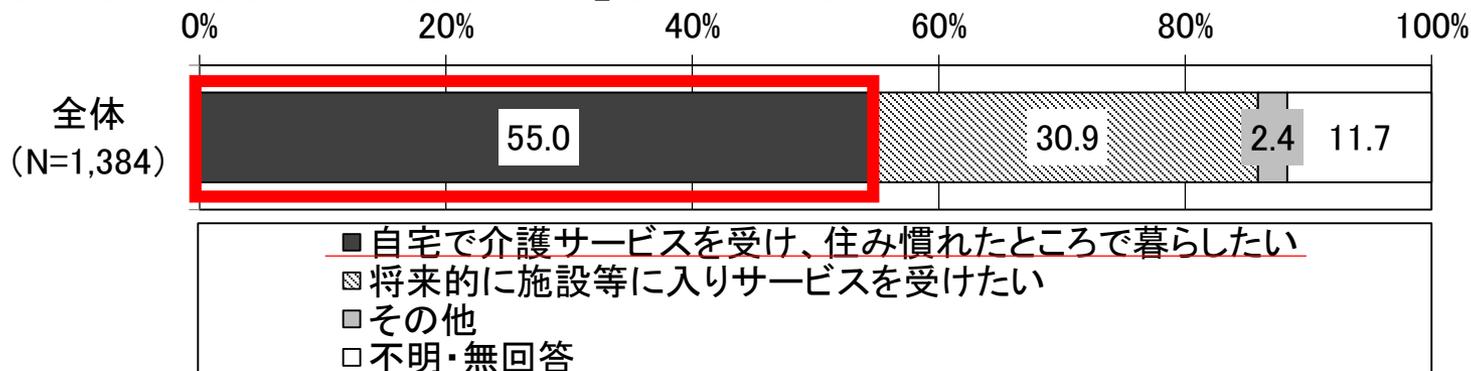
### Ⅲ 高齢者と家族を支える介護体制の充実

#### 【地域密着型サービスの充実】

あなたご自身が要介護状態になった場合、どのようにしたいと思いますか。（単数回答）

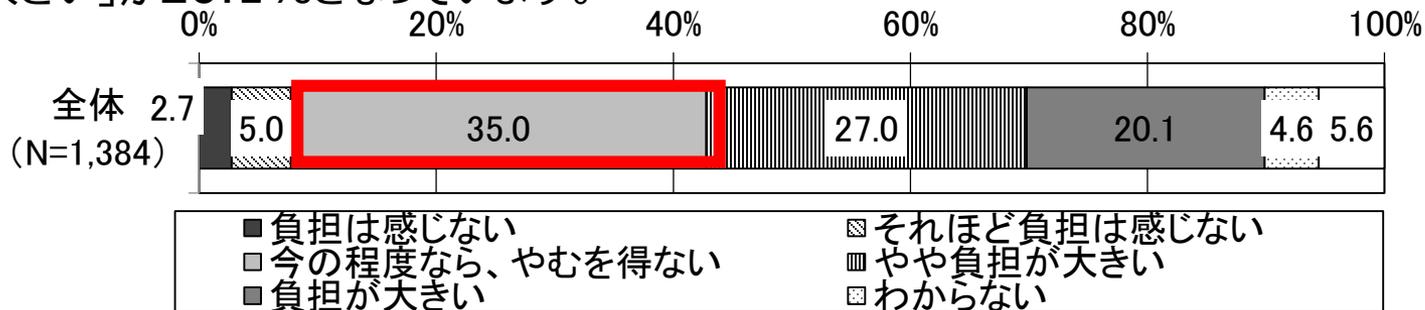
※ニーズ調査

「自宅で介護サービスを受け、住み慣れたところで暮らしたい」が55.0%と最も高く、次いで「将来的に施設等に入りサービスを受けたい」が30.9%となっています。



あなたの介護保険料について経済的な負担感はどうですか。（単数回答） ※ニーズ調査

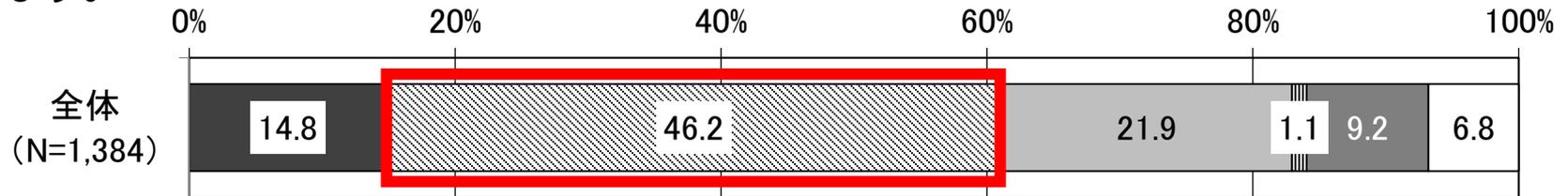
「今の程度なら、やむを得ない」が35.0%と最も高く、次いで「やや負担が大きい」が27.0%、「負担が大きい」が20.1%となっています。



保険料と施設サービスのあり方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（単数回答）

※ニーズ調査

保険料と施設サービスのあり方への考えについてみると、「在宅サービスを充実させ、保険料への影響はなるべく抑えたほうがよい」が46.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が21.9%となっています。



- 介護の負担を軽減するため、保険料に影響があっても施設の充実を優先させたほうがよい
- ▨ 在宅サービスを充実させ、保険料への影響はなるべく抑えたほうがよい
- どちらともいえない
- ▣ その他
- わからない
- 不明・無回答

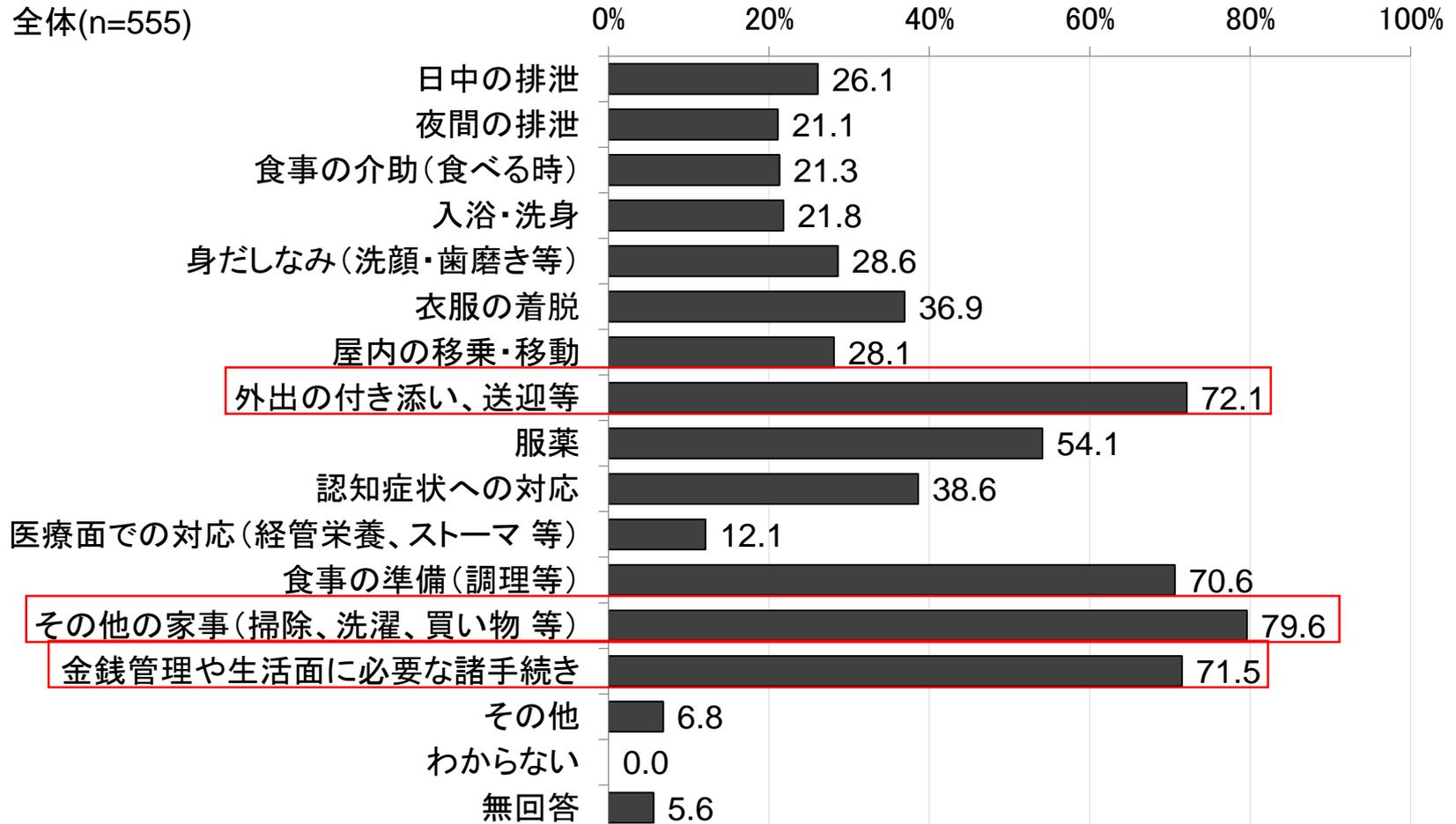
身近な地域で介護を受けられるよう、在宅介護サービスの充実が求められています。あわせて、適切な介護保険料の算定が必要です。



**地域の実情に応じた介護サービスの充実**

## 主な介護者が行っている介護（複数回答） ※在宅介護調査

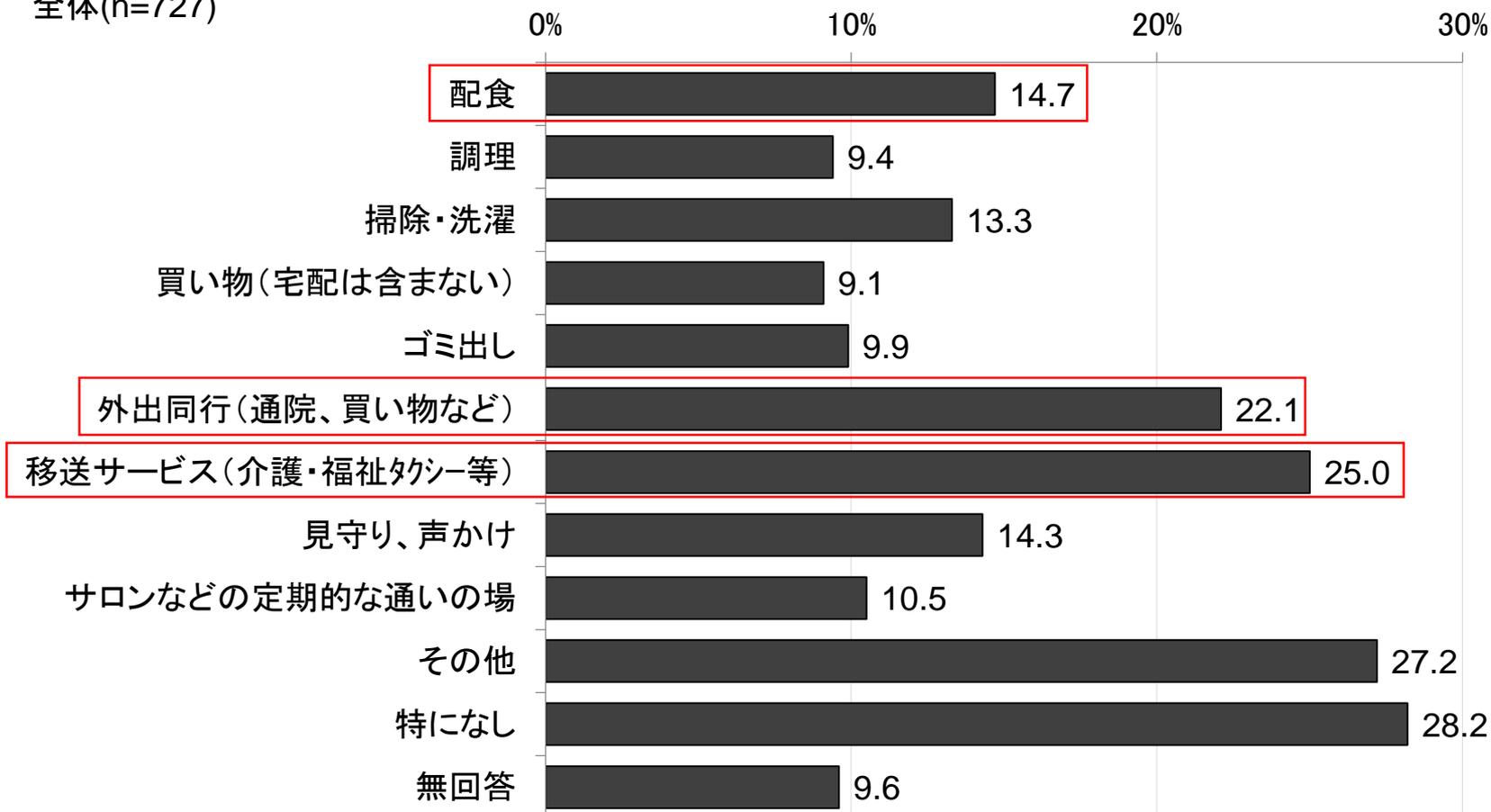
主な介護者が行っている介護についてみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が79.6%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が72.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が71.5%、「食事の準備（調理等）」が70.6%となっています。



## 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答） ※在宅介護調査

在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービスについてみると、「特になし」「その他」を除き、「移送サービス（介護タクシー等）」が25.0%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が22.1%、「配食」が14.7%となっています。

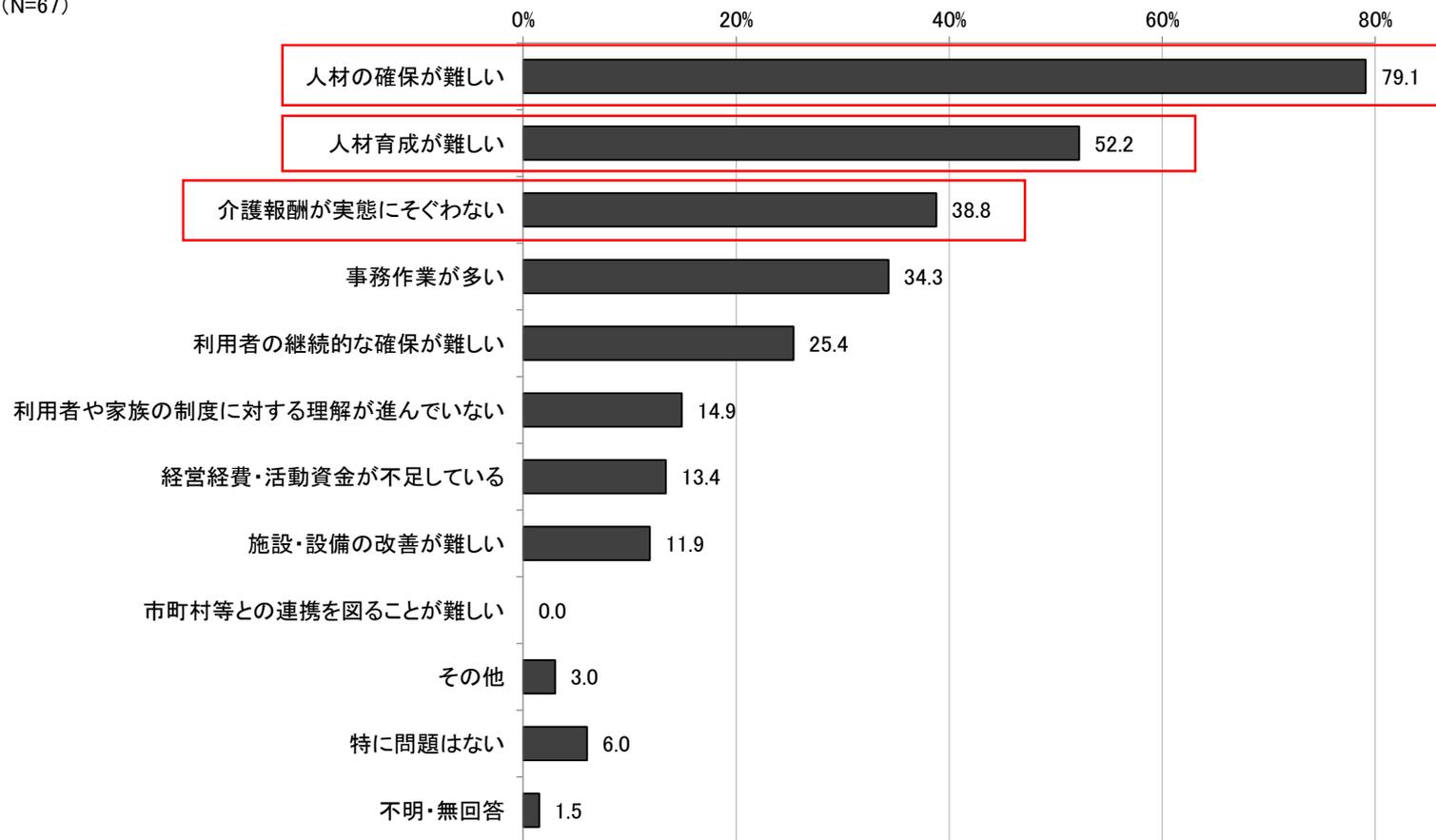
全体(n=727)



## 事業所の運営に関して、現在困難を感じること（複数回答） ※事業所調査

「人材の確保が難しい」が79.1%と最も高く、次いで「人材育成が難しい」が52.2%、「介護報酬が実態にそぐわない」が38.8%となっています。

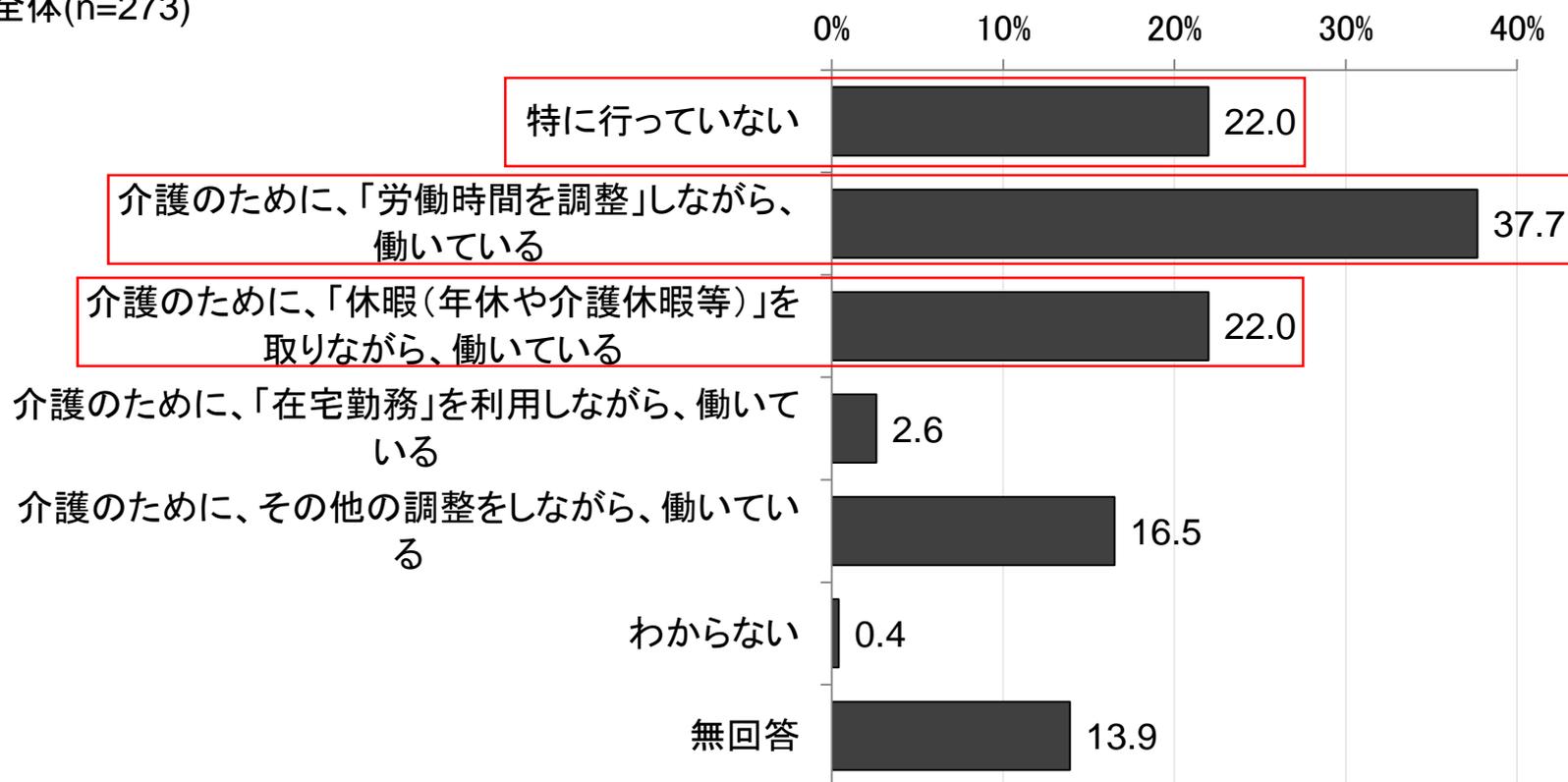
全体(N=67)



## 主な介護者の方の働き方の調整の状況（複数回答） ※在宅介護調査

主な介護者の中で働いている方（41.8%）の働き方の調整の状況についてみると、「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が37.7%と最も高く、次いで「介護のために、「休暇」を取りながら、働いている」、「特に行っていない」がそれぞれ22.0%となっています。

全体(n=273)

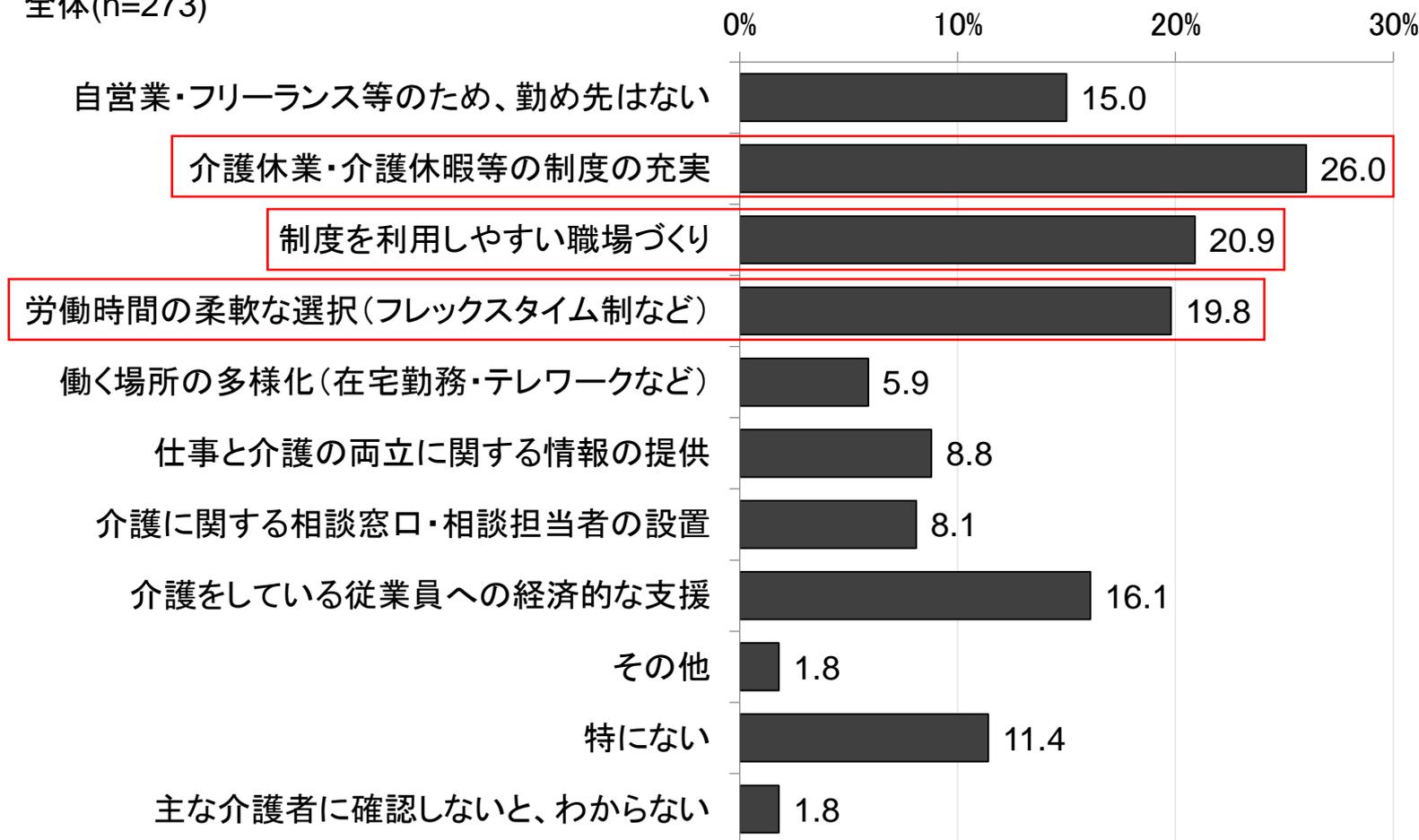


## 勤労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）

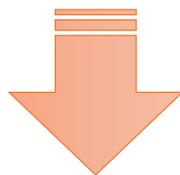
### ※在宅介護調査

勤労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援についてみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が26.0%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が20.9%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が19.8%となっています。

全体(n=273)



- 掃除・洗濯・買い物・配食等の家事援助の支援と外出支援が介護者が行っている主な介護で、将来的にも介護者が不安に感じており、生活援助サービスの提供の充実など、在宅生活を支える環境づくりに努める必要があります。
- 介護者は、介護のためにさまざまな働き方の調整をしながら働いています。
- また、介護をする人、介護を受ける人が安心して自宅で生活できるよう企業・事業所の職場環境の改善に向けた意識啓発を行っていく必要があります。

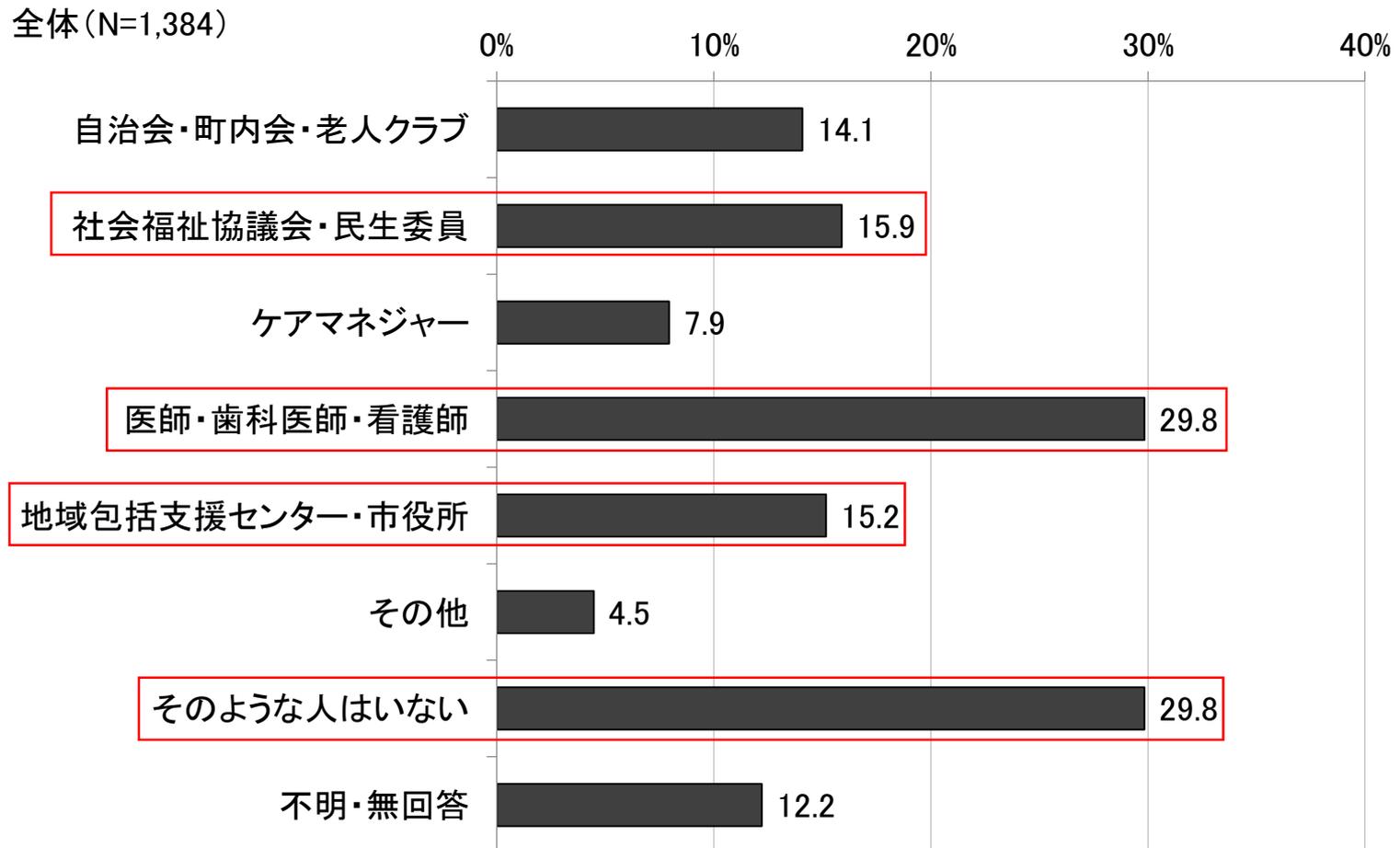


**在宅生活を支えるサービス基盤と環境づくり**

## 【相談体制の充実】

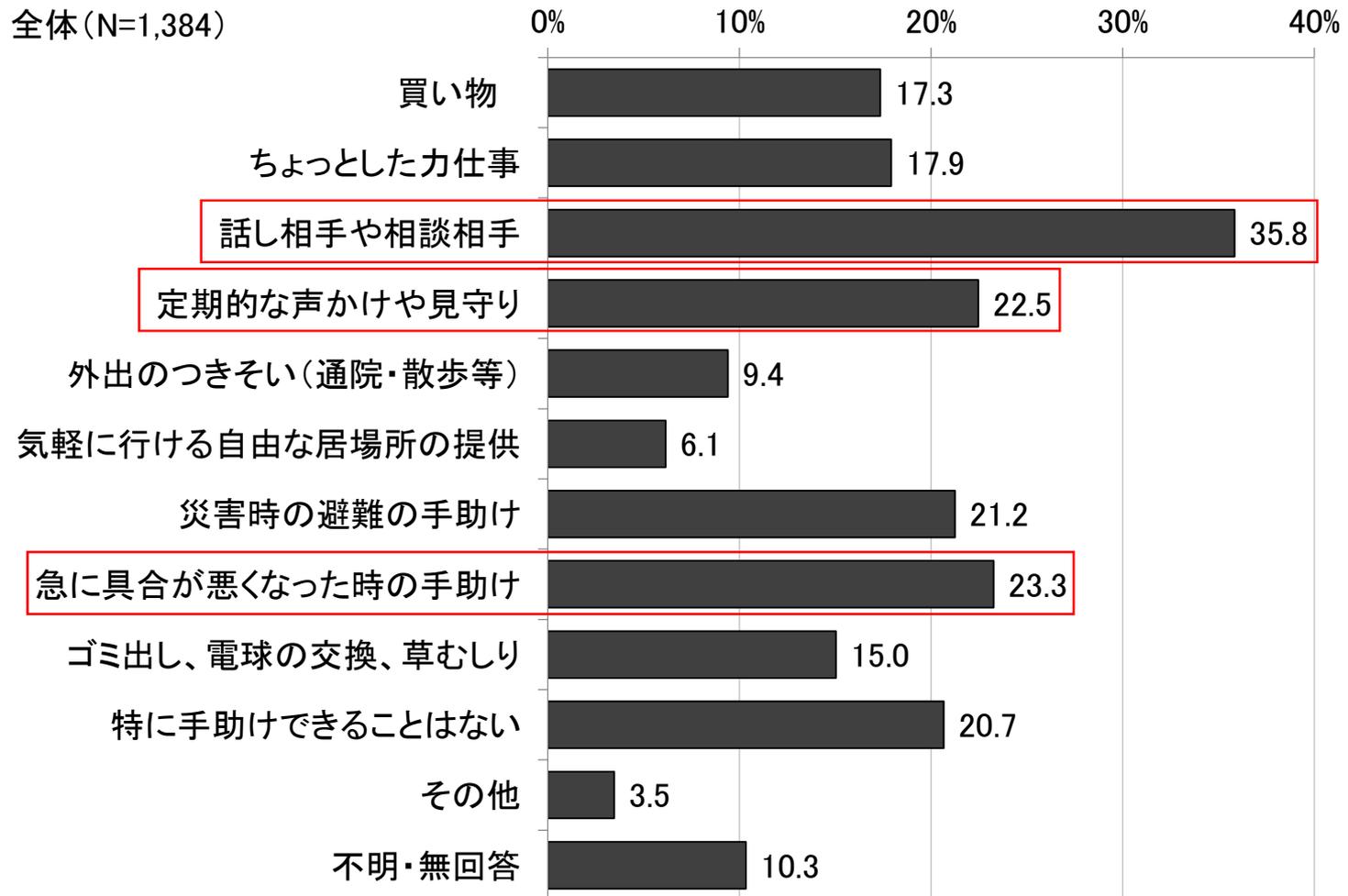
家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください。(複数回答) ※ニーズ調査

何かあった時に相談する相手についてみると、「医師・歯科医師・看護師」と「そのような人はいない」がそれぞれ29.8%と最も高く、次いで「社会福祉協議会・民生委員」が15.9%、「地域包括支援センター・市役所」が15.2%となっています。

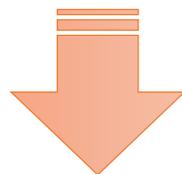


あなたご自身がご近所で手助けや協力ができることがありますか。(複数回答) ※ニーズ調査

あなたご自身がご近所で手助けや協力ができることについてみると、「話し相手や相談相手」が35.8%と最も高く、次いで「急に具合が悪くなった時の手助け」が23.3%、「定期的な声かけや見守り」が22.5%となっています。



- 何かあったときの相談相手について、3割程度の人が「いない」と回答されており、身近に相談できる窓口の周知・充実を図る必要があります。
- 一方で高齢者が近所で手助けできること、協力できることについて、「話し相手や相談相手」が多く、行政の相談機関の周知、充実させていくとともに、困ったときに地域でSOSが出せる、受け取れる地域づくりを推進していく必要があります。



## 相談体制の充実